

## 第5回 一般社団法人日本スポーツ理学療法学会(JSSPT) 理事会 議事次第

日時:2021年11月8日(月) 19:00 開始

開催方法:Web

出席者:

議事:

### 1. 挨拶

- (1) 理事長挨拶

### 2. 審議事項

- (1) 海外講師招聘に関する申合せについて(永野)
- (2) ホームページ管理運用規程について(永野)
- (3) 慶弔規程について(永野)
- (4) 公印規程の変更について(永野)
- (5) 学術大会内規の一部変更について(永野)
- (6) 会員の承認について(永野)
- (7) 第9回学術大会について(相澤)

### 3. 協議事項

- (1) 機関誌について(赤坂)

### 4. 報告事項

- (1) 第8回学術大会について(岡戸)
- (2) 第31回福岡県理学療法士学会シンポジウムについて(相澤)
- (3) 委員会開催時の手続きについて(永野)

### 5. その他

<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 1 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	海外講師招聘に関する申合せについて Key word* ;		
内容及び 提出趣旨	海外講師招聘に関する申合せについて、ご審議ください。		
	添付資料： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無（別紙 6 枚 資料番号等）		
対応	付託先	学会・研究会：[ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合： [ 常任理事会/業務執行理事会/理事会・理事懇談会 ] 委員会： [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

# 学術大会における海外講師招聘に関する申合せ

令和〇年〇月〇日  
日本スポーツ学会理事会制定

## (目的)

第1条 この申合せは、一般社団法人日本〇〇理学療法学会（以下、「本学会」という。）が開催する学術大会における海外講師招聘に関して、必要な基準を定める。

## (基準)

第2条 海外講師招聘に関して、必要な事項を以下に定めるものとする。

- (1) 本学会の会計・経理規程や旅費規程、謝金の支払い基準に関する規程等を適用する。
- (2) 講師謝金は「謝金の支払い基準に関する規程」のとおりとし、円建てで支払う。レートは支払（振込）日の為替レートを適用する。
- (3) 謝金には、講演料、抄録作成費用、（講演集原稿料）、スライド作成費用、源泉所得税（復興特別所得税含む）も含む（源泉所得税分は上乘せしない）。資料代などの名目を変えた経費を別途支払わない。
- (4) 抄録、講演集原稿の著作権は本学会が有するものとする。
- (5) 講演集の出版（電子出版を含む）を除き、講演内容を出版物等で頒布する場合の謝礼は謝金に含まない。
- (6) 講師の国によって、税務署へ書類を提出すれば源泉所得税（復興特別所得税含む）が非課税になる場合がある。講師の詳細が決定したら、**事務取扱担当者**に必要書類を確認する。確認後、講師に書類を提出するか否かを決めてもらう。
- (7) 旅費は旅費規程を適用する。
- (8) 旅費とは国内交通費、宿泊費とし、日当は支払わない（日当は謝金に含む）。
- (9) 旅費は講師のみの負担とし、同伴者の旅費を負担しない。
- (10) 海外からの航空券はエコノミークラスとする。
- (11) 国内移動の際のグリーン車、航空券アップクラス（クラスJ、プレミアムクラス）は認めない。
- (12) 本学会からホテル、旅行会社などへ直接支払う場合を除き、講師の旅費はその概算額を謝金に上乘せして支払う。
- (13) 宿泊費に朝食代を含むことは差し支えないが、ホテル内外での個人的なサービス利用の費用は講師の負担とする（飲食、種々のサービスなど）。
- (14) 宿泊費は学術大会会期（状況に応じて前後泊）中のみの負担とする。
- (15) 会期中の夕食については、大会役員同伴での会食費用の支出は差し支えない（1次会のみ）。会食の場合、大会役員が大人数とならないこと（海外講師と同人数を基本とする）。
- (16) 観光費用は認めない。
- (17) 講演通訳が必要な場合は、原則として国内会員に依頼し、謝金のみ学会負担とし、旅費、参加費は個人負担とする。やむを得ず、海外から通訳を招聘する場合は、旅費（宿泊費も含む）は講師と同様とし、割り当て予算内にて処理する。
- (18) 謝金の支払は、原則として銀行振込とし、振込費用は本学会負担とする。
- (19) 謝金、旅費、飲食、通訳などの海外講師招聘に必要な費用は学術大会準備委員会から提示される予算の範囲で処理し、増額は認めない。

## (改廃)

第3条 本申合せの改廃は、本学会理事会の審議にて決議する。

- 1 本申合せは、令和3年度以降に開催される学術大会から適応する。

Payment of honoraria, traveling expenses and burden of expenses

**Japanese Society of Sports Physical Therapy**

1. Honoraria for lecturers will be paid on a yen basis in accordance with the regulations of **Japanese Society of Sports Physical Therapy**.
2. Honoraria include lecture fees, preparation fees for abstracts, (manuscript fees for collection of lectures), preparation fees for slide materials, and withholding tax\*(includes the special income tax for reconstruction).
3. Honoraria will be taxed for withholding tax\*(includes the special income tax for reconstruction) in Japan in principle, but may be withholding tax\*(includes the special income tax for reconstruction)-free depending on your country. In this case, you need to submit required documents, and if you cannot submit them, honoraria will be paid with withholding tax\*(includes the special income tax for reconstruction) deducted.
4. You will transfer copyrights of the abstracts and the manuscripts of collection of lectures to **Japanese Society of Sports Physical Therapy**. No additional fee will be paid.
5. Traveling expenses will be paid in addition to honoraria for lecturers on a yen basis in accordance with the regulations of **Japanese Society of Sports Physical Therapy**.
6. Traveling expenses include travel fares and accommodation fees in Japan and overseas. When they are tacked onto honoraria for lectures and paid, withholding tax\*(includes the special income tax for reconstruction) will be included in accordance with Japanese law.
7. For air tickets for travel from abroad, please use economy-class.
8. Please refrain from using first-class trains and upper-class air tickets (including Class J, Premium class) when traveling in Japan.
9. Accommodation fees will be paid only for the term of the congress.
10. Traveling expenses will not be paid for companions.
11. Neither expenses for use of personal services such as drinking or eating inside or outside of your hotel nor sightseeing expenses will be paid.
12. Honoraria will be paid into your bank account in principle. Bank charges will be borne by the host.

For the exchange rate, the rate of the date on which the payment (transfer) was made will be applied.

\*an income tax to be paid to the government by the payer of the income rather than by the recipient of the income

I agree with the above mentioned terms.

DATE(Y Y/M M/D D) \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_

Signature \_\_\_\_\_

## 謝金および旅費のお支払い・経費の負担について

### 日本スポーツ理学療法学会

1. 講師謝金の金額は日本スポーツ理学療法学会の規則を適用し、円建てでお支払いいたします。
2. 謝金には、講演料、抄録作成費用、(講演集原稿料)、スライド作成費用、源泉所得税(復興特別所得税含む)を含みます。
3. 謝金には原則として日本の源泉所得税(復興特別所得税含む)が課税されますが、先生の国によって源泉所得税(復興特別所得税含む)が非課税になる場合があります。その場合、必要な書類をご提出いただく必要があります。ご提出いただけない場合は源泉所得税(復興特別所得税含む)を控除して謝金をお支払いいたします。
4. 抄録、講演集原稿の著作権は日本スポーツ理学療法学会へ譲渡していただき、別途費用のお支払いは致しかねます。
5. 旅費は日本スポーツ理学療法学会の規則を適用し、講師謝金に加算して円建てでお支払いいたします。
6. 旅費には国内外交通費、宿泊費を含み、講師謝金に上乗せしてお支払いする場合は日本の法律により、源泉所得税を含みます。
7. 海外からの航空券はエコノミークラスをご利用ください。
8. 国内移動の際のグリーン車、航空券アップークラス(クラスJ、プレミアムクラス)の利用はご遠慮ください。
9. 宿泊費は学術大会会期中のみの負担いたします。
10. 同伴者の旅費は負担いたしかねます。
11. ホテル内外での飲食など個人的なサービス利用の費用および観光費用は負担いたしかねます。
12. 謝金の支払は、原則として銀行振込となります。振込手数料は主催者にて負担いたします。為替はお支払(振込)日のレートを適用します。

上記、承知しました。

DATE(Y/M/D) \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_

署名 \_\_\_\_\_

BILL TO:

〇〇〇〇(学会名)

# INVOICE

NAME :

ADDRESS : Post code 106-0032  
Roppongi 7-11-10, Minato,  
Tokyo, Japan

ADDRESS :

PHONE : +81-3-5843-1747

DATE

SERVICE DESCRIPTION		AMOUNT
1	a lecture /conference fee	
2		
3		
4		
5		
6		
NOTE  Including expenses for transportation		SUB TOTAL ¥0
		TAX ¥0
		TOTAL AMOUNT ¥0

## REMITTANCE INFORMATION

Beneficiary Bank	
Branch	
Beneficiary Bank Address	
Beneficiary Bank BIC (SWIFT Code)	
Payee Account Number	
Name of Account Holder	
Payee Address	
Payee Telephone Number	
Payee Telephone Number	



<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 1 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	ホームページ管理運用規程について Key word* ;		
内容及び 提出趣旨	ホームページ管理運用規程についてご審議お願い致します。  添付資料 <input checked="" type="radio"/> 有・無 (別紙 2 枚 資料番号等)		
対応	付託先	学会・研究会 : [ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合 : [ 常任理事会 / 業務執行理事会 / 理事会・理事懇談会 ] 委員会 : [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

## ホームページ管理運用規程

令和3年 月 日  
法人学会理事会制定

(趣旨)

第1条 この規程は、一般社団法人 日本スポーツ理学療学会（以下、「本学会」という。）が広報活動の一環としてインターネット上に提供するホームページ（以下、「本学会ホームページ」という。）の円滑な管理運用に関し必要な事項を定めるものとする。

(ホームページの構成)

第2条 公式ホームページは、本学会が企画作成する本学会ホームページのことを指す。

(公式ホームページの内容等)

第3条 公式ホームページの内容は、本学会の広報活動にふさわしいものであって、適切性、正確性及び新鮮度に配慮したものでなければならない。

2 公式ホームページには、次に掲げる情報を掲載してはならない。

- (1) 公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
- (2) 人権及びプライバシーを侵害するもの又はそのおそれのあるもの
- (3) 個人又は団体を誹謗中傷するもの又はそのおそれのあるもの
- (4) 営利を目的とするもの
- (5) 著作権、出版権、肖像権又は商標権を侵害するもの又はそのおそれのあるもの
- (6) 前各号に掲げる情報の情報源へのアクセス方法に関するもの
- (7) その他本学の広報活動を推進する上で不適切と認められるもの

3 公式ホームページに用いる言葉は、日本語及び英語とする。

(公式ホームページの管理運用)

第4条 本学会ホームページの管理運用は、広報担当者が行う。

- 2 本学会ホームページには、その内容について所轄する担当部署の名称等を明記しなければならない。
- 3 リンクを張ったホームページが、第3条第2項に掲げる情報を掲載しているホームページであると判断されたときは、本学会理事長の指示に基づき、当該ホームページの内容について所轄する担当責任者に対して警告を発し、又はリンクを切断する等の措置を講じることができる。

(ホームページサーバーの運用管理)

第5条 サーバーの運用管理は、一般社団法人日本理学療法学会連合の広報委員会が行う。

(補則)

第6条 この規程に定めるもののほか、ホームページ管理等に関し必要な事項は、広報担当者の発議により、本学会理事会決議を経て、理事長が定めるものとする。

(規程の改廃)

第7条 本規程の改廃は、理事会の決議による。

附 則

1 本規程は、令和3年〇月〇日より施行する。

<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 1 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	慶弔規程について Key word* ;		
内容及び 提出趣旨	慶弔規程についてご審議お願い致します。  添付資料 <input checked="" type="radio"/> 有・無 (別紙 2 枚 資料番号等)		
対応	付託先	学会・研究会 : [ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合 : [ 常任理事会 / 業務執行理事会 / 理事会・理事懇談会 ] 委員会 : [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

## 慶弔規程

令和 年 月 日  
法人学会理事会制定

### (趣旨)

第1条 この規程は、一般社団法人 日本スポーツ理学療法学会(以下、「本学会」という。)の  
役員等の慶弔の取扱い基準を定める。

### (定義)

第2条 本規程での役員等とは以下の各号を示す。

- (1) 理事
- (2) 監事
- (3) その他、理事長が慶弔規程の対象と判断した者

### (慶事)

第3条 本学会の活動に寄与した役員等の慶事を慶祝することが適当であると、理事長および理事会が判断した場合、以下の各号の対応を実施することができる。

- (1) 理事長名での祝電
- (2) ホームページへの掲載

### (弔辞)

第4条 役員等への弔辞対応について以下の各号の対応を実施することができる。

- (1) 理事長名での弔電 第2条第1項第1号から第3号に示す経験者を含む役員等
- (2) 本学会名での生花 理事・監事の現職者ならびに経験者
- (3) 刊行物への掲載 理事・監事の現職者ならびに経験者は、写真・略歴・役職名  
第2条第1項第3号の経験者を含む役員等は、役職・委員名等

### (適用範囲)

第5条 本規程は本人または関係者から本学会に申し出があった場合に適用する。

### (委任)

第6条 この規程に提示のない事項については、理事会に委ねることとする。

### (規程の改廃)

第7条 本規程の改廃は、理事会の決議による。

附 則

- 1 本規程は、令和3年〇月〇日より施行する。

<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 1 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	公印規程の変更について Key word* ;		
内容及び提出趣旨	<p>電子公印の使用を認めるにあたり、公印規程の一部を変更しなければならない。以下の点についてご審議ください。</p> <p>(公印の名称等)</p> <p>第3条 公印の名称、寸法、使用区分及び個数は、次の通りとする。</p> <p>(1) 「日本スポーツ理学療法学会理事長之印」直径 21mm 円形型 1個 実印</p> <p>(2) 「日本スポーツ理学療法学会理事長之印」直径 18mm 円形型 1個 銀行印</p> <p>(3) 「日本スポーツ理学療法学会之印」一辺 24mm 正方形型 1個</p> <p>(4) 「日本スポーツ理学療法学会学術大会長之印」一辺 24mm 正方形型 1個</p> <p>(電子計算機による印影の出力)</p> <p>第4条 前条の(3)(4)に掲げる公印については、押印に代えて電子計算機に記録した当該公印の印影を出力したもの(以下、「電子公印」という。)を使用することができる。</p> <p>公印規程 別表1 第3条第5号→第3条第4号</p>		

公印規程【法人学会】

ページ	修正前	修正後
P 4 6	<p>(電子計算機による印影の出力)</p> <p>第4条 前条の(3)に掲げる公印については、押印に代えて電子計算機に記録した当該公印の印影を出力したもの(以下、「電子公印」という。)を使用することができる。</p> <p>2 第1項に規定する電子公印の寸法は、特別の場合を除いて原寸とする。</p>	<p>(電子計算機による印影の出力)</p> <p>第4条 前条の(3) <u>(4)</u>に掲げる公印については、押印に代えて電子計算機に記録した当該公印の印影を出力したもの(以下、「電子公印」という。)を使用することができる。</p> <p>2 第1項に規定する電子公印の寸法は、特別の場合を除いて原寸とする。</p>
P 4 7	<p>附則</p> <p>1 本規程は、この法人の設立登記日より施行する。</p>	<p>附則</p> <p>1 本規程は、この法人の設立登記日より施行する。</p> <p>2 本規程は、令和3年〇月〇日一部改正により施行する。</p>
P 4 8	<p>公印規程 別表1</p> <p>第3条第5号</p>	<p>公印規程 別表1</p> <p>第3条第<u>4</u>号</p>

添付資料：有・無(別紙 枚 資料番号等)

対応	付託先	学会・研究会：[ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合： [ 常任理事会/業務執行理事会/理事会・理事懇談会 ] 委員会： [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと



<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 1 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	学術大会内規の変更について Key word* ;		
内容及び提出趣旨	当該会員が学術大会講師の場合は、参加費の支払いは必要だが、他学会員の場合は、参加費は不要である旨、昨年度の運営審議会で審議されている。そこで、学術大会内規の第3条第5項の一部変更についてご審議お願い致します。  添付資料： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (別紙2枚 資料番号等)		
対応	付託先	学会・研究会：[ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合： [ 常任理事会 / 業務執行理事会 / 理事会・理事懇談会 ] 委員会： [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keywordは3~5つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

学術大会内規（法人学会）

ページ	修正前	修正後
	<p>(学術大会等における講師への旅費・謝金)</p> <p>第3条 学術大会等における活動については、原則として本学会員及び参加者の自主性によるものであり、本学会においても、本学会員が講師やシンポジスト等の場合における旅費・謝金は支払わないものとする。</p> <p>2 本学会における「謝金の支払い基準に関する規程」に示されている基準額はあくまでも上限であり、状況に応じて減額することは妨げない。</p> <p>3 学術大会の予算については支出が超過しないことを原則として、謝金の支出管理を行う。</p> <p>4 講師選定にあたっては一部の会員に偏ることがないように調整する。</p> <p>5 参加費については、<b>公益社団法人 日本理学療法士協会（以下、「協会」という。）会員あるいは本学会員</b>である場合は、講師であっても自己負担とする。</p> <p>*****</p>	<p>(学術大会等における講師への旅費・謝金)</p> <p>第3条 学術大会等における活動については、原則として本学会員及び参加者の自主性によるものであり、本学会においても、本学会員が講師やシンポジスト等の場合における旅費・謝金は支払わないものとする。</p> <p>2 本学会における「謝金の支払い基準に関する規程」に示されている基準額はあくまでも上限であり、状況に応じて減額することは妨げない。</p> <p>3 学術大会の予算については支出が超過しないことを原則として、謝金の支出管理を行う。</p> <p>4 講師選定にあたっては一部の会員に偏ることがないように調整する。</p> <p>5 参加費については、<b>本学会員</b>である場合は、講師であっても自己負担とする。</p> <p>*****</p>
	<p>附則</p> <p>1 本内規は、令和3年度以降に開催される学術大会から適応する。</p> <p>2 第3条第1項に関わらず、令和3年度内に実施される学術大会の講師謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>3 第3条第7項に関わらず、令和4年度内までに実施される学術大会の運営に関わるスタッフ謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p>	<p>附則</p> <p>1 本内規は、令和3年度以降に開催される学術大会から適応する。</p> <p>2 第3条第1項に関わらず、令和3年度内に実施される学術大会の講師謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>3 第3条第7項に関わらず、令和4年度内までに実施される学術大会の運営に関わるスタッフ謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>4 <b>本内規は、令和3年〇月〇日一部改正により施行する。</b></p>

学術大会内規（研究会）

ページ	修正前	修正後
	<p>(学術大会等における講師への旅費・謝金)</p> <p>第3条 学術大会等における活動については、原則として本学会員及び参加者の自主性によるものであり、本学会においても、本学会員が講師やシンポジスト等の場合における旅費・謝金は支払わないものとする。</p> <p>2 本学会における「謝金の支払い基準に関する規程」に示されている基準額はあくまでも上限であり、状況に応じて減額することは妨げない。</p> <p>3 学術大会の予算については支出が超過しないことを原則として、謝金の支出管理を行う。</p> <p>4 講師選定にあたっては一部の会員に偏ることがないように調整する。</p> <p>5 参加費については、<b>公益社団法人 日本理学療法士協会（以下、「協会」という。）会員あるいは本学会員</b>である場合は、講師であっても自己負担とする。</p> <p>*****</p>	<p>(学術大会等における講師への旅費・謝金)</p> <p>第3条 学術大会等における活動については、原則として本学会員及び参加者の自主性によるものであり、本学会においても、本学会員が講師やシンポジスト等の場合における旅費・謝金は支払わないものとする。</p> <p>2 本学会における「謝金の支払い基準に関する規程」に示されている基準額はあくまでも上限であり、状況に応じて減額することは妨げない。</p> <p>3 学術大会の予算については支出が超過しないことを原則として、謝金の支出管理を行う。</p> <p>4 講師選定にあたっては一部の会員に偏ることがないように調整する。</p> <p>5 参加費については、<b>本研究会員</b>である場合は、講師であっても自己負担とする。</p> <p>*****</p>
	<p>附則</p> <p>1 本内規は、令和3年度以降に開催される学術大会から適応する。</p> <p>2 第3条第1項に関わらず、令和3年度内に実施される学術大会の講師謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>3 第3条第7項に関わらず、令和4年度内までに実施される学術大会の運営に関わるスタッフ謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p>	<p>附則</p> <p>1 本内規は、令和3年度以降に開催される学術大会から適応する。</p> <p>2 第3条第1項に関わらず、令和3年度内に実施される学術大会の講師謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>3 第3条第7項に関わらず、令和4年度内までに実施される学術大会の運営に関わるスタッフ謝金については、協会が制定した「謝金の支払い基準に関する規程」に準ずることができる。</p> <p>4 本内規は、<b>令和3年〇月〇日一部改正により施行する。</b></p>

<b>審議</b>		議案説明時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 2 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
議題	会員の承認について Key word* ;		
内容及び 提出趣旨	<p>下記、会員の承認についてご審議ください。</p> <p>専門会員 A (47名)</p> <p>一般会員 (500名)</p> <p style="text-align: center;">添付資料 <input checked="" type="radio"/> 有・無 (別紙8枚 資料番号等)</p>		
対応	付託先	学会・研究会 : [ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合 : [ 常任理事会 / 業務執行理事会 / 理事会・理事懇談会 ] 委員会 : [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

日本スポーツ理学療法学会第 9 回学術大会の企画書

Ver.1.1

日本スポーツ理学療法学会第 9 回学術大会  
準備委員会

**【連絡事項】**

- ・学術大会等を開催する場合は、次ページ以降のフォーマットにて企画書・日程表・予算書をご提出ください。
- ・上記の企画書名や「学術大会概要」のページは、研究会、サテライト集会など企画する内容により、学術大会長名等は適宜ご変更ください。
- ・本企画書・日程表・予算書は、分科学会学術大会規程の第 8 条（平成 30 年度日本理学療法士学会 規程集 P70～72）に基づき、学会運営審議会へ議題として提出されます。

## 開催趣意

本邦では、平均寿命のさらなる伸延により「少子超高齢」「人生 100 年」の社会をむかえます。スポーツ界では、身体活動の量・質の不足による心身機能不全と、スポーツ愛好や競技の浸透による外傷・障害発生という表裏一体の問題に直面し続けるでしょう。スポーツ活動による過負荷や外傷・障害による 2 次的問題が人生後半の数十年という間に顕在化することも危惧されます。健康な心身を財産とらえ、適切なスポーツ活動とリスクマネジメントにより健康寿命の伸延と、生産性の維持・向上につなげることが今後の大きな社会課題になると考えます。

スポーツに関係するイベント、医療・コンディショニング施設、教育機関で多くの理学療法士が活動し、今後も様々な分野・領域で活躍することでしょう。スポーツ系理学療法を主たる業務とし、それを標榜する施設・機関は国公立、私立ともに増加傾向にあります。高校生や大学生に目を向けると、“選手に寄り添い結果を出す”理学療法士に憧れ、将来の仕事にしたいと考える者が増していると実感します。

スポーツ理学療法の対象には、障がいの有無を問わず、選手、スポーツ愛好家、児童・学生、高齢者などが含まれます。さらに、関与している（しうる）領域はリハビリテーションに限らず、スポーツ復帰支援、外傷や疾病の予防、学校や市区町村での保健など多岐にわたり、私たちの活動範囲は拡大傾向にあるように思います。

このような社会背景の中で日本スポーツ理学療法学会として何を率先すべきでしょうか。私としては、諸先輩方が築いてこられたスポーツ理学療法の学術レベルを底上げし、その根拠を効果的で安全な臨床・実践につなげること。そして、専門教育課程での教育に活かしていくことが特に重要と考えます。また、これらの研究成果や実践力を理学療法分野内外に発信していくことも同じくらい重要です。

本大会は日本スポーツ理学療法学会が法人化されて 2 回目の大会となります。法人学会の主目的である「学術活動の推進とエビデンス確立」、そして、「国際標準的な理学療法の普及」を意識し、大会のテーマを掲げました。「外傷予防」、「急性期介入」、「リハビリテーション」、「パフォーマンス拡大」の 4 つを主軸とし、演題を募り、シンポジウムを系統的に企画しました。スポーツ理学療法の持続可能性に大きくかかわる「多様性」について議論するセッションを設けました。法人学会の活動を参加者の方々によりご理解いただくために学術関連の委員会担当理事より現状や今後の展望を発信する企画もあります。その他、会期中に参加者の方々が効率的に情報を発信し、社会貢献に向けたチームビルディングの機会として頂く工夫も盛り込みます。

東京都内で利便性（駅近、空港近、ホテル近、お台場、ディズニーランド&シー）の高い会場にて、皆様にとって実りある 2 日間となるよう準備委員一同尽力いたします。次の 10 回記念大会に良い形でつなげられる（思い出に残る）大会になれば幸いです。

日本スポーツ理学療法学会 第 9 学術大会  
学術大会長 相澤 純也

学術大会概要

1. 名 称 日本スポーツ理学療法学会第9回学術大会
2. 会 期 2022年12月10日(土曜日)～12月11日(日曜日)
3. 会 場 TOC 有明 Convention Hall
4. 学術大会長 相澤 純也(順天堂大学)
5. 副学術大会長 赤坂 清和(埼玉医科大学)
6. 準備委員長 小山 貴之(日本大学)
7. 準備委員 前田 慶明(広島大学)  
福井 一輝(広島大学)  
中川 和昌(高崎健康福祉大学)  
大路 駿介(東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター)  
廣幡 健二(東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター)  
地神 裕史(国士舘大学)  
井上 夏香(早稲田大学スポーツ科学技術院)  
佐藤 正裕(八王子スポーツ整形外科)  
塩田 真史(横浜市スポーツ医科学センター)  
鈴川 仁人(横浜市スポーツ医科学センター)  
大見 武弘(東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター)  
永野 康治(日本女子体育大学)
8. 参加者見込 900人
9. 最少催行人数 800人
10. 一般演題 164題(主題16題、口述48題(英語演題含む)、ポスター100題)
11. 事務局 東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター  
担当者: 大見武弘  
TEL: 03-5803-4721  
E-mail: ohmi.spt@tmd.ac.jp

12. 学術大会企画

学会テーマ: 「コンピテンシーの科学的探究・injury prevention, acute intervention, rehabilitation and performance enhancement」

○学術大会長講演

テーマ 膝スポーツ外傷後の再受傷予防&パフォーマンスエンハンスメント(仮)

大会長 相澤 純也

司会 未定

○シンポジウム1

テーマ injury prevention(仮)

シンポジスト 未定 (3名または4名)

座長 未定

○シンポジウム 2

テーマ acute invention (仮)

シンポジスト 未定 (3名または4名)

座長 未定

○シンポジウム 3

テーマ rehabilitation (仮)

シンポジスト 未定 (3名または4名)

座長 未定

○シンポジウム 4

テーマ performance enhancement (仮)

シンポジスト 未定 (3名または4名)

座長 未定

○委員会企画 1~3

委員会：機関誌，国際，標準化，学術推進，ガイドライン

活動内容，進捗，今後の展望など

○ディベートセッション

テーマ：多様性のある理学療法士 (仮)

女性参画を主軸とし、多様性についての議論を行う。

討論者 未定

○企業企画：企業紹介等プレゼンの機会

○ポスターセッション：

学術的なコミュニケーションの機会を多く設ける目的から、1時間のフリーディスカッションとする。

・ポスターに筆頭演者の経歴，連絡先を掲示する。ハンドアウトの準備を促す。

○Tokyo2020 polyclinic reunion @休憩所

Tokyo2020 活動参加者の同窓会 (30分程度)

## 1.3. 日程表

別添

## 1.4. 予算書

別添



## 日本スポーツ理学療法学会第9回学術大会日程表

第1日目 2022年12月10日(土曜日)

第1会場 大ホールX(600-700名)		第2会場 中ホールX(300名)		展示ホール
9時	00 10 20 30 40 50	受付 開会式		
10時	00 10 20 30 40 50	大会長講演 「膝スポーツ外傷後の再受傷予防&パ フォーマンスエンハンスメント」(仮)		ポスター貼付
11時	00 10 20 30 40 50	主題演題発表 1 injury prevention (15分×4演題)	一般演題発表 1 (10分×6演題)	
12時	00 10 20 30 40 50	委員会企画1	企業企画	
		企業企画	企業企画	
13時	00 10 20 30 40 50	シンポジウム 1 「injury prevention」(仮)	一般演題発表 2 (10分×6演題)	ポスター発表1 (60分)
14時	00 10 20 30 40 50	主題演題発表 2 acute intervention (15分×4演題)	一般演題発表 3 (10分×6演題)	ポスター発表2 (60分)
15時	00 10 20 30 40 50	シンポジウム 2 「acute intervention」(仮)	一般演題発表 4 (10分×6演題)	
16時	00 10 20 30 40 50		委員会企画2	ポスター撤去
17時	00 10 20 30 40 50		Tokyo2020 polyclinic reunion (@休憩室)	

第2日目 2022年12月11日または12月18日(日曜日)

第1会場 大ホールX(600-700名)		第2会場 中ホールX(300名)		展示ホール
9時	00 10 20 30 40 50	主題演題発表 3 rehabilitation (15分×4演題)	一般演題発表 5 (10分×6演題)	ポスター貼付
10時	00 10 20 30 40 50	シンポジウム 3 「rehabilitation」(仮)	一般演題発表 6 (10分×6演題)	
11時	00 10 20 30 40 50		委員会企画3	
12時	00 10 20 30 40 50	企業企画	企業企画	
		企業企画	企業企画	
13時	00 10 20 30 40 50	主題演題発表 4 performance enhancement (15分×4演題)	一般演題発表 7 (10分×6演題)	ポスター発表3 (60分)
14時	00 10 20 30 40 50	シンポジウム 4 「performance enhancement」(仮)	一般演題発表 8 (10分×6演題)	ポスター発表4 (60分)
15時	00 10 20 30 40 50	表彰式 閉会式		ポスター撤去
16時	00 10 20 30 40 50			

## 予算書

R3.10.27更新

日本スポーツ理学療法学会第9回学術大会

収入の部						
	科目	単価(円)	数量	金額(円)	備考	
1	参加登録費	会員 事前登録	10,000	720	7,200,000	
		会員 当日登録	12,000	80	960,000	
		非会員 理学療法士	22,000	5	110,000	当日登録のみ
		非会員 他職種	8,000	20	160,000	当日登録のみ
		学生	3,000	75	225,000	当日登録のみ
2	広告料	20,000	15	300,000	プログラム集広告	
3	企業展示料	150,000	15	2,250,000		
4	その他収益					
合計				11,205,000		

支出の部				
	科目	摘要	金額(円)	備考
1	会議費	会議関連費用	280,000	弁当代、飲料代他
2	旅費交通費	準備委員会、当日運営スタッフ旅費他	300,000	
3	通信運搬費	通信関連費用	30,000	郵送料他
4	消耗什器備品費	事務用品他	200,000	記念品代他
5	印刷製本費	プログラム集印刷製本費他	350,000	プログラム集作製費他
6	賃借料	会場費・会場付属設備費他	4,300,000	
7	諸謝金	講師謝金・旅費、準備委員謝金	450,000	
8	手数料	振込手数料	10,000	
9	委託料	運営企業委託費	3,500,000	
10	臨時雇賃金	当日運営要員アルバイト料	300,000	当日運営スタッフ賃金(⑥6,000円×25名×2日)
11	予備費	雑費含む	1,485,000	
合計			11,205,000	

●会場概要

**東京都江東区有明3丁目5番7号**

<p>&lt;りんかい線&gt; 国際展示場駅より徒歩3分</p>	<p>&lt;ゆりかもめ&gt; 東京ビッグサイト駅/有明駅より徒歩4分</p>
---------------------------------------	--



- 車でのアクセス
  - 首都高速湾岸線「有明」「臨海副都心」出口より約5分
  - 首都高速11号線「台場」出口より約5分
  - 首都高速10号晴海線「豊洲」出口より約7分
  - 銀座から晴海通り・晴海大橋（無料）経由 約15分
- バスでのアクセス
  - 東京駅丸の内南口より都営バス都05-2系統、
  - もしくは東京駅八重洲口より都営バス東16系統
  - 「東京ビッグサイト行き」約35分「武蔵野大学前」下車約3分
- 羽田空港からのアクセス
  - 「お台場・有明エリア行き」約30分
  - 「相鉄グランドフレッサ 東京ベイ有明」下車約1分
- 成田空港からのアクセス
  - 「お台場・有明エリア行き」約60分
  - 「相鉄グランドフレッサ 東京ベイ有明」下車約1分

※上記の到着予想時間は目安です。交通状況等により到着時間は異なりますので、ご確認のうえご来館ください。  
 ※パナソニックセンター内通行可能時間【平日/りんかい線開業～終電】【土日祝/7:00～22:00】



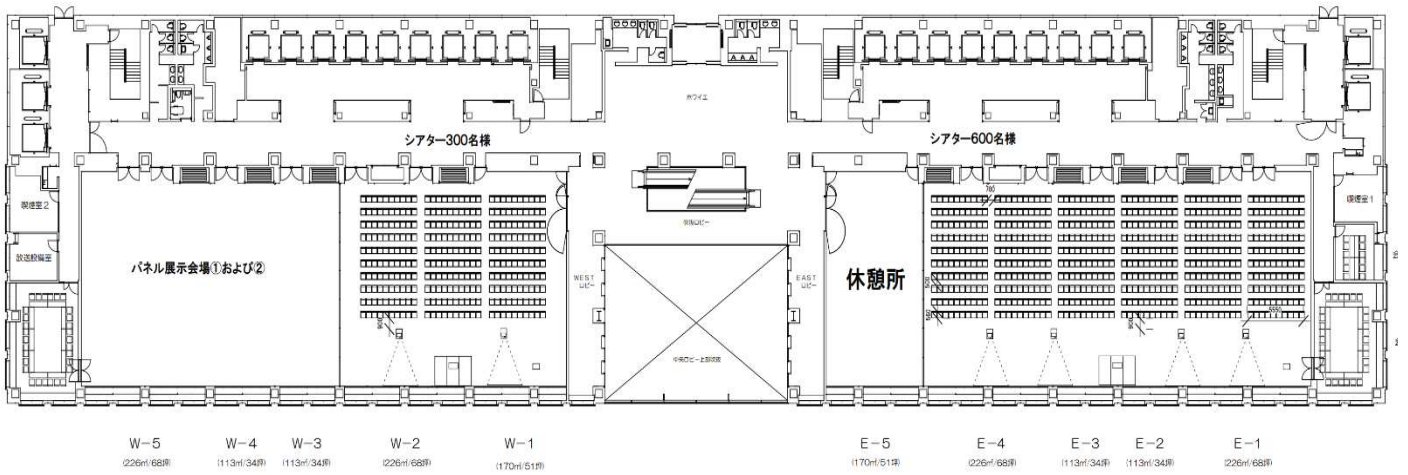
[ここに入力]

[ここに入力]

資料 4



4階ホール貸切・使用パターン案



## お見積書

第9回日本スポーツ理学療法学会学術集会 会長

順天堂大学 保健医療学部理学療法学科

相澤 純也先生

会 期: 2022年12月10日(土)~11日(日)

会 場: TOC(有明)

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063

東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

tell : 03-5520-8821 fax : 03-5520-8820

お世話になっております。

このたび、御大会のお見積りご提出の機会を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。  
何卒御検討の程、謹んでお願い申し上げます。

**学会名: 第9回日本スポーツ理学療法学会学術集会**

**お見積り金額: ¥3,411,160**

(見積り条件)

■学会会員数	1,500 名
■有料参加者数	1,000 名
■口演会場数	2 会場
■一般演題口演数	20 件
■ポスター演題数	100 件
■指定演題数	70 件
■座長数	40 件
■事前参加申込有無	有り

担当	承認

# 【事前準備業務】

## ①事前参加登録受付関係業務代行

業務内訳	数量(件)	単価	金額
登録管理システム作成料	貴学会にて以後対応		
事前参加登録処理業務(実数請求)	貴学会にて以後対応		
①計			0

## ②演題受付関係業務代行

業務内訳	数量(件)	単価	金額
演題管理システム(演題投稿、査読システム)使用・管理料	1 式	80,000	80,000
一般演題(口演)登録処理業務 実数にてご請求	件	1,000	0
一般演題(示説)登録処理業務 実数にてご請求	件	1,000	0
指定演題登録処理業務 実数にてご請求	件	1,500	0
司会、座長処理業務(指定演題、一般演題) 実数にてご請求	名	1,000	0
②計			80,000

## ③印刷製本費

印刷製本・製作物内訳	数量(部)	単価	金額
封筒(角2、1色)	部	15	0
大会長印	個	3,000	0
レターヘッドデザイン料	式	5,000	0
協賛趣意書(A4、1色、18ページ)	部	240	0
大会案内	部	160	0
演題募集案内(A4、1色、裏表1枚)	部	15	0
基本デザイン制作費(有料のレンタルポジ使用の場合は別途実費請求)	1 式	50,000	50,000
プログラム・抄録集レイアウト料(A4サイズ、表紙4色、本文1色、100頁)	1 式	200,000	200,000
抄録集 会員宛て送付状印刷	部	6	0
抄録集 会員宛て送付封入作業費	部	35	0
アプリ(スマホ版)	式	890,000	0
ポスター(4色、A2サイズ)	100 部	350	35,000
チラシ(4色、ポスターのA4縮小版)	部	23	0
招待状	部	50	0
御礼状	部	150	0
当日運営マニュアル(本文作成費含む)	部	500	0
③計			285,000

## ④旅費交通費

業務内訳	数量(件)	単価	金額
準備期間中の打合せ等交通費	1 式	10,000	10,000
④計			10,000

## ⑤通信費

業務内訳	数量(件)	単価	金額
電話・ファクス等(海外通話は別途請求)	1 式	15,000	15,000
案内状送付代(実費請求)			
趣意書等(実費請求)	部	80	0
抄録集送付代(実費請求)	部	60	0
その他通信運搬費			実費請求
⑤計			15,000

## ⑥備品・消耗品費

業務内訳	数量(件)	単価	金額
準備期間中の備品・消耗品費	1 式	5,000	5,000
準備期間中のコピー料	1 式	5,000	5,000
⑥計			10,000

## ⑦ホームページ制作および更新・管理費

業務内訳	数量(件)	単価	金額
<日本語版>			
トップページデザイン	1 式	5,000	5,000
基本ページデザイン	1 式	5,000	5,000
各ページコンテンツ作成	1 式	150,000	100,000
更新・管理・運営費	1 式	50,000	50,000
<英語版>			
英語ホームページ簡易版作成・更新・運営費	1 式	80,000	80,000
⑦計			240,000

## 【当日運營業務】

## ①付帯設備費(映像・音響・照明等)

器 材 内 訳	期 間	数 量	単 価	金 額
【口演会場】				
液晶プロジェクター(第1会場～第2会場:1000ANSI程度)	会場付帯設備使用			
液晶プロジェクター(サイド用:1000ANSI程度) 第1会場	期間中	1 台	15,000	15,000
スクリーン(メイン用:第1会場)	会場付帯設備使用			
スクリーン(メイン用:第2～)	会場付帯設備使用			
スクリーン(サイド用) 80～100インチ自立式 第1会場用	期間中	1 台	5,000	5,000
ラクサー(液晶プロジェクターメイン用)	期間中	6 台	10,000	60,000
ラクサー(液晶プロジェクターサイド用)	期間中	1 台	1,000	1,000
TFTモニター(オペレータ、座長、演者用)	期間中	6 台	5,000	30,000
分配器(プロジェクター、モニター分岐用)	期間中	2 台	10,000	20,000
映像関係コード類(Dsub、5BNCケーブル)	期間中	2 式	15,000	30,000
WindowsノートブックPC(メイン用)	期間中	2 台	25,000	50,000
WindowsノートブックPC(サブスライド)	期間中	1 台	18,000	18,000
ワイヤレスマウス(発表者&PCオペレータチェック用)	期間中	4 個	3,000	12,000
スイッチャー(発表用PC等切り替用)	期間中	2 台	40,000	80,000
音声ミキサー&ケーブル	期間中	2 台	5,000	10,000
タイムキーピング器(デジタル計時回線)	期間中	2 台	13,000	26,000
次座長席、次演者席表示灯	期間中	2 台	12,000	24,000
卓上ライト(PCオペレータ、演者、座長、進行席)	期間中	6 台	500	3,000
レーザーポインター	期間中	2 台	1,500	3,000
設営・撤去費		2 会場	26,000	52,000
運搬費(全映像機材)		1 式	150,000	150,000
照明関係費(会場備品使用)	会場付帯設備使用			
音響関係費	会場付帯設備使用			
ステージ周り関係費(演台、司会台、ステージ等)	会場付帯設備使用			
電源コード類(1会場7本、長ケーブル、タップ等)	期間中	14 本	1,000	14,000
【PCセンター機材・オペレータ】				
(映像関係)				
WindowsノートブックPC(メイン用)	期間中	2 台	25,000	50,000
出力用TFTモニター(演者出力チェック用)	期間中	2 台	5,000	10,000
映像関係コード類	期間中	2 式	3,000	6,000
電源コード類(長ケーブル、タップ等)	期間中	4 本	1,000	4,000
設営・撤去		1 式	20,000	20,000
(ネットワーク関係)				
サーバーマシン	期間中	1 台	30,000	30,000
ネットワークケーブル類	期間中	1 式	5,000	5,000
LAN配線敷設工事費	期間中	1 式	15,000	15,000
電源コード類	期間中	5 本	1,000	5,000
【事務局用PC&プリンター】				
・PCレンタル料	期間中	台	15,000	0
・プリンターレンタル料(白黒トナー含む)	期間中	台	8,000	0
・プリンターレンタル料(カラートナー含む)	期間中	台	5,000	0
・プリンターA4用紙(500枚入り)	期間中	冊	2,000	0
①計				748,000





## ⑤会場設営費

器 材 内 訳	期 間	数 量	単 価	金 額
ポスターパネル(H900mm×H2100mm、両面使用可)		25 枚	3,000	75,000
ポスター番号表示		100 枚	100	10,000
ポスターセッション画鋏		1 式	5,000	5,000
演者、座長リボン		100 枚	50	5,000
音響システム		1 式	50,000	0
設営・撤去人件費(ポスターセッション)		2 名	17,000	34,000
運搬費(ポスターセッション)		1 式	30,000	30,000
注)上記数量は実数にてご請求				
<b>展示基礎小間関係費用は各出展者様負担とする。</b>				
⑤計				159,000

## ⑥企画・管理費等

項 目	期 間	数 量	単 価	金 額
企画・運営管理費(上記合計の10%)				305,560
(企画管理費の内容)				
・各種申請書類作成・届出(助成金、ビザ、補助金等)				
・後援名義取得申請				
・各種発送業務(ポスター、案内状、演題募集案内等)				
・会場との連絡等				
・会場図面作成(ステージ、フロアプラン等)				
・ポスターセッションレイアウト作成				
・共催セミナー企業との連絡渉外業務				
・広告掲載者との連絡渉外渉外業務				
・看板、表示板案提案・原稿作成				
・料飲発注計画				
・本部役員会、各種委員会手配				
・招待者、役員等の宿泊手配				
・会長招宴、懇親会出欠業務、一覧作成				
・会長招宴、懇親会式次第案作成、シナリオ作成				
・当日機器使用計画作成				
・当日運営スタッフ配置計画				
・当日会場内運営スタッフ指示書作成				
・進行シナリオ(会場内アナウンス原稿)案作成				
・当日スタッフ運営資料作成				
・お礼状作成、発送業務				
・決算用資料作成(税理士報酬、公認会計士報酬は含みません)				
・会議後の報告書作成・発送				
事前打ち合わせ人件費	1 式		50,000	50,000
⑥合 計				355,560

## ⑦会場関係費

器 材 内 訳	期 間	数 量	単 価	金 額
会場借り上げ料				
会場備品				
電気、空調費等				
⑦計				0

## ⑧会議関係費

器 材 内 訳	期 間	数 量	単 価	金 額
会長招宴				
懇親会				
各種打合せ				
委員および当日運営スタッフ(主催者、労務提供等)食費				
ドリンク関係費				
⑧計				0

## ⑨謝金・交通費・宿泊費・記念品等(座長・演者・関係者)関係費

器 材 内 訳	期 間	数 量	単 価	金 額
謝金				
交通費				
宿泊				
⑨計				0

<b>協議</b>		議案説明時間	約 5 分間
			時 分 ~ 時 分
		討議希望時間	約 10 分間
			時 分 ~ 時 分
提出者*	赤坂	説明者*	赤坂
所属	委員会 / <input type="checkbox"/> 学会 / 研究会 名称[ 日本スポーツ理学療法学会 ]		
役職	理事長 / 副理事長 / 総務担当理事 / 委員長 / <input type="checkbox"/> 理事 / その他 ( )		
議題	<p>機関誌については、日本学術会議からの返答により、JOSPT または自前の学術誌の作成することでよろしいか。</p> <p>Key word* ;</p>		
内容及び提出趣旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>今年度の予算として機関誌関連に 30 万円の予算がついている。</li> <li>すでにメールにてご報告している通り、本学会の機関紙調整委員会で検討した結果、協力学研究団体登録に問題がなければ、JOSPT を機関誌とする意見で一致している。(資料 A)</li> <li>実際に JOSPT に問い合わせたところ、US\$14.00 (1,550 円程度) にて機関紙として認めることについて内諾を得ている。(資料 B)</li> <li>日本学術会議事務局学術研究団体担当に以前問い合わせたが、実際に申請していただかないとはっきりと返事ができない旨と連絡があったため、再度、電話にて問い合わせを行い、メールにて資料添付の上、相談するように指導を受けた。それにより、10 月 22 日に再度メールにて問い合わせを行った。(資料 C, 1, 2, 3, 4, 5, 6)</li> <li>他の学会では、学術誌を自前で作成する予定のようである。</li> <li>自前の雑誌については、ScholarOne Manuscript を使用するかしらないかで予算にばらつきがあり、使用しない場合に創文印刷が 313,720 円、アイペックの場合 546,810 円で、いずれの場合もオンライン査読システム ScholarOne Manuscripts を使用する場合には、登録として、初回に杏林舎に 706,576 円の費用が発生する。(資料 7, 8)</li> <li>本学会では、日本学術会議事務局学術研究団体担当からの返事により、JOSPT または自前による学術誌の作成へ進めることでよろしい理事会でご協議いただきたい。</li> </ol> <p style="text-align: right;">添付資料：<input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (別紙 9 枚 資料番号 A, B, C, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8)</p>		
対応	付託先	学会・研究会：[ 常任理事会 / 理事会 ] 学会連合： [ 常任理事会/業務執行理事会/理事会・理事懇談会 ] 委員会： [ ]	
	次回再検討予定	なし / あり [ 審議 / 報告 ]	
	年 月 日 ( ) 会議( )		

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

## ●日本学術会議協力学術研究団体の指定に係る必要な要件及び手続

平成18年11月21日  
第16回科学者委員会決定

日本学術会議協力学術研究団体（以下「協力学術研究団体」という。）の指定に当たっては、日本学術会議協力学術研究団体規程（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定。以下「団体規程」という。）により、必要な要件及び手続を下記のとおり定めるものとする。

### 記

#### 1 「指定」の通称の使用

団体規程における「称号の付与」については、「指定」と通称することとする。

#### 2 協力学術研究団体として必要な要件の細目

##### (1) 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とするものであること。

次のようなものは対象外とする。

- ① 一定の思想、主義、主張の普及又は宣伝を主たる目的とするもの
- ② 趣味を目的とする同好者の集まりと認められるもの
- ③ 学術の研究が当該団体又は当該業種の事業目的の従たる目的に過ぎないと認められるもの
- ④ 営利を目的とすると認められた団体及びその附属機関
- ⑤ その他、先例等に照らして不相当と認めたもの

##### [×事例]

× 株式会社は、明らかに営利を目的としたものなので不相当

##### (2) 研究者（注）の自主的な集まりで研究者が構成員の半数以上であること。

次のようなものは対象外とする。

- ① 国、特殊法人、独立行政法人及び地方公共団体並びにこれらの設置した学校及び附属機関
- ② 学校法人の設置した学校及び附属機関
- ③ ①②の名称を冠したもののうち、実質的に、構成員の資格が特定の大学、学術研究機関その他の団体に所属する者（かつてこれらに所属していたものを含む。）となっているもの
- ④ 団体の研究が、研究者で行われているとは認められないもの
- ⑤ その他、先例等に照らして不相当と認めたもの

##### [×事例]

× 個別の学術研究団体にあつて学生のみ（又は学生が主体）で構成されているものは、

研究者の集まりとは認められないので不適當

- × 個別の学術研究団体にあつて大学等に所属すると自動的に当該団体の会員となるような団体は、自主的な集まりとは認められないので不適當
- × ○○大学△△学会（○○は大学名）というような名称で、役員も実質的に○○大学に所属するものとなっている学術研究団体は、○○大学と一体とみなされるので不適當

(3) 学術研究団体の役員半数以上が構成員である研究者であること及び当該研究者が会費を負担することにより、学術研究団体の運営が研究者自身によって行われていると認められるものであること。ただし、会費の負担に関して、学術研究団体の連合体の場合はこの限りではない。

(4) 次の基準を具備する学術に関する機関誌を継続して年1回以上発行（電子発行を含む。）していること。ただし、学術研究団体の連合体の場合は、この限りではない。

① 人文科学、社会科学又は自然科学に関する学術の研究発表及び議論を主たる目的とするもの。次のようなものは対象外とする。

ア 予稿集、講演要旨集、会議用資料など（ただし、これらであっても、当該研究分野の特性に応じて、掲載された内容が学術論文に準じると判断される場合を除く。この場合は、そのことの説明文書を添付すること。）

イ 団体又はその構成員の消息、意見等をその団体内に報告、交換することを主たる目的とするもの

ウ 文献紹介、図書目録等単なる資料集

エ 時事を報道論議することを主たる目的とするもの

② 発行の終期を予定し得ないもの

単行本の体裁、性質を有するものは対象外とする。

③ 学術に関する団体自身が発行するものとしての形態を具備しているもの

発行人が国、特殊法人、独立行政法人、地方公共団体及び学校法人並びにこれらの設置した学校及び附属機関、出版社等であつて、学術研究団体自身の発行するものとしての形態を具備していない次のようなものは対象外とする。

ア 刊行物の表紙の発行人が、△△大学××学部となっている。

イ 刊行物の表紙の発行人が○○学会となつていても、奥付けの部分が△△大学××学部となっているもの

④ 広告の掲載量が全紙面の3分の1を超えないもの

⑤ ①から④を具備する機関誌を原則とするが、次の機関誌については、個別審査の上で適切と認められる場合には、当該団体の機関誌とみなすことができる。

ア 複数の学協会が発行する合同機関誌。ただし、複数の学協会の役割を明示した書類、発行物等を審査し、当該団体の査読や著作権等に関する体制が学術研究団体として適切と認められる場合に限る。

イ 当該団体が編集し出版社等が発行する機関誌。ただし、当該団体の査読や著作権等に関する体制が学術研究団体として適切と認められる場合に限る。

(5) 学術研究団体の連合体の場合は、構成する学術研究団体のうち協力学術研究団体以外の団体について、それぞれが上記(1)から(4)の要件を満たしていること。

### 3 協力学術研究団体の指定に係る事務手続

(1) 科学者委員会委員長は、必要に応じ関係各部に審査を付託する。

各部では、当該学術協力研究団体の審査をすることが適当である分野別委員会に審査を依頼することができる。

(2) (1)により審査を依頼された分野別委員会では、別紙1に審査結果を記入するものとする。

また、協力学術研究団体に指定することが不適當又は保留とする場合には、その理由を別紙1に別途付記するものとする。

(3) 各部では、(2)の分野別委員会の審査結果を科学者委員会に回答するものとする。

(4) 科学者委員会は、(2)による審議結果の回答を踏まえ、審議する。

(5) 学術研究団体の連合体の指定に係る事務については、原則として、各部に審査を依頼することなく、科学者委員会において対応するものとする。

また、上記2(5)の要件を満たしていることを確認するため、当該学術研究団体の代表者に対し別紙2により確認書の提出を求めるものとする。

(注) 当該規程における「研究者」の具体的範囲は以下のとおりとする。

- ① 大学、高等専門学校、大学共同利用機関等において研究に従事する者
- ② 国立試験研究機関、特殊法人、及び独立行政法人等において研究に従事する者
- ③ 地方公共団体の試験研究機関等において研究に従事する者
- ④ 公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人等において研究に従事する者
- ⑤ 民間企業において研究に従事する者
- ⑥ その他、当該研究分野について、学術論文、学術図書、研究成果による特許等の研究業績を有する者

#### 附 則

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成22年 1月15日第19回科学者委員会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成25年10月25日第33回科学者委員会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成25年11月15日第34回科学者委員会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成26年 4月10日第38回科学者委員会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成27年10月20日第16回科学者委員会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（令和元年6月12日第22回科学者委員会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（令和2年8月12日第38回科学者委員会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（令和2年11月19日第1回科学者委員会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

## 協力学術研究団体の審査票

部 分野別委員会名

審査員名

## 申請団体

審査項目に掲げる協力学術研究団体としての必要な要件を満たしている場合には「○」を審査結果欄に記入し、満たしていない場合には「×」を審査結果欄に記入してください。全て「○」の場合、審査結果は「適」となります。また、意見等がある場合は、下欄にご記入ください。なお、審査項目の2及び3の審査に当たっては、別添「協力学術研究団体指定要件確認書」を参考にして下さい。

番号	審査項目	審査結果
1	<b>学術研究の向上発達を図ることを主たる目的としていること</b> (以下のようなものは不適となります。) (1) 一定の思想、主義の普及・宣伝を主たる目的とするもの。 (2) 趣味を目的とする同好者の集まりと認められるもの (3) 学術の研究が当該団体又は当該業種の事業目的の従たる目的に過ぎないと認められるもの (4) 営利を目的とする団体及びその附属機関	
2	<b>研究者の自主的な集まりで研究者(*)が構成員の半数以上であること</b> (以下のようなものは不適となります。) (1) 国、特殊法人、独立行政法人及び地方公共団体並びにこれらの設置した学校及び附附属機関 (2) 学校法人の設置した学校及び附属機関 (3) 上記(1)又は(2)の名称を冠したもののうち、実質的に、構成員の資格が特定の大学、学術研究機関その他の団体に所属する者(かつてこれに所属していた者を含む。)となっているもの (4) 団体の研究が、研究者で行われているとは認められないもの	
3	<b>学術研究団体の役員の半数以上が研究者であること及び当該研究者が会費を負担することにより、学術研究団体の運営が研究者自身によって行われていると認められるもの。ただし連合体の場合はこの限りではない。</b>	
4	<b>以下の基準を具備する学術に関する機関誌を継続して年1回以上発行(電子発行を含む)していること。ただし連合体の場合はこの限りではない。</b> ① 人文科学、社会科学又は自然科学に関する学術の研究発表及び議論を主たる目的とするもの。 ② 発行の終期を予定し得ないもの ③ 学術に関する団体自身が発行するものとしての形態を具備しているもの ④ 広告の掲載量が全紙面の3分の1を超えないもの ⑤①から④を具備する機関誌を原則とするが、次の機関誌については、個別審査の上で適切と認められる場合には、当該団体の機関誌とみなすことができる。 ア複数の学協会が発行する合同機関誌。ただし、複数の学協会の役割を明示した書類、発行物等を審査し、当該団体の査読や著作権等に関する体制が学術研究団体として適切と認められる場合に限る。 イ当該団体が編集し出版社等が発行する機関誌。ただし、当該団体の査読や著作権等に関する体制が学術研究団体として適切と認められる場合に限る。	

## \*「研究者」の具体的範囲は以下の通り

- (1) 大学、高等専門学校、大学共同利用機関等において研究に従事する者
- (2) 国立試験研究機関、特殊法人、独立行政法人等において研究に従事する者
- (3) 地方公共団体の試験研究機関等において研究に従事する者
- (4) 公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人等において研究に従事する者
- (5) 民間企業において研究に従事する者
- (6) その他、当該研究分野について、学術論文、学術図書、研究成果による特許等の研究業績を有する者

**総合所見**(適・不適・保留のいずれかに○を付けて、意見があれば下記欄に自由に記入して下さい。協力学術研究団体に指定することが不適当又は保留とする場合には、その理由を簡潔に記入して下さい。)

	・適  ・不適  ・保留
--	--------------------------



## 連合体を構成する学術研究団体に関する確認書

令和 年 月 日

## 1 貴連合体を構成する協力学術研究団体のすべてについて、その名称を記入してください。

1		11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

2 貴連合体を構成する協力学術研究団体以外の各学術研究団体について、以下の項目についてそれぞれ、個人会員である構成員の数を記入するとともに、他の各項目につき、その条件を満たしていることを確認の上、該当する箇所に「○」を記入してください。  
また、各学術研究団体の会則、役員名簿(男女の別及び所属情報を含む)、設立趣意書及び機関誌を添付してください。

番号	学術研究団体名	構成員の数(人)	学術研究の向上と達成を図ること(注1)	研究者の自主的な集まり(注2)	研究者の半数以上が研究者であること	運営は研究者自身によること	学術に関する機関誌を発行していること	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								

(注1) 次のようなものは対象外とする。

- ① 一定の思想、主義、主張の普及又は宣伝を主たる目的とするもの
- ② 趣味を目的とする同好者の集まりと認められるもの
- ③ 学術の研究が当該団体又は当該業種の事業目的の従たる目的に過ぎないと認められるもの
- ④ 営利を目的とすると認められた団体及びその附属機関

(注2) 次のようなものは対象外とする。

- ① 国、特殊法人、独立行政法人及び地方公共団体並びにこれらの設置した学校及び附属機関
- ② 学校法人の設置した学校及び附属機関
- ③ ①②の名称を冠したもののうち、実質的に、構成員の資格が特定の大学、学術研究機関その他の団体に所属する者(かつてこれらに所属していたものを含む。)となっているもの
- ④ 団体の研究が、研究者で行われているとは認められないもの

※研究者の具体的範囲は以下のとおりとする。

- ① 大学、高等専門学校、大学共同利用機関等において研究に従事する者
- ② 国立試験研究機関、特殊法人及び独立行政法人等において研究に従事する者
- ③ 地方公共団体の試験研究機関等において研究に従事する者
- ④ 公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人等において研究に従事する者
- ⑤ 民間企業において研究に従事する者
- ⑥ その他、当該研究分野について、学術論文、学術図書、研究成果による特許等の研究業績を有する者

**Memorandum of Agreement  
Between Japanese Society of Sports Physical Therapy  
and the Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy, Inc.**

Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT) and the Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy (JOSPT) agree to work together in the following ways:

- 1. Special individual online-only subscription to JOSPT for Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT) Members:** JOSPT agrees to extend to eligible Members of Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT) access to the online JOSPT at an annual rate of US \$14.00 per Member payable in US funds to JOSPT by JSSPT. Japanese Society of Sports Physical Therapy will provide JOSPT with a list of its Members and their email addresses, which JOSPT will only use to verify membership and assure Members online access. JOSPT further ensures that, in keeping with its longstanding policy, JOSPT will not sell the member information received from Japanese Society of Sports Physical Therapy to any third party. In addition to the current issue, JOSPT's website includes searchable, electronic access to JOSPT articles published in previous issues. This archive includes all articles published since JOSPT began operations in 1979. The per-member rate quoted above is valid through 2021 and may increase in subsequent years.
- 2. Special discounted print upgrade:** JOSPT agrees to extend to Members of Japanese Society of Sports Physical Therapy the option to upgrade their online-only subscriptions with the addition of the print edition of JOSPT (12 issues per year) for the discounted rate of USD \$360.00. The Journal's 2021 individual standard and special JSSPT print rates are as follows:

Type of Subscription	Current Standard JOSPT Print Rate	Current Special Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT) Member Print Rate
Individual	USD \$475.00	USD \$360.00

Japanese Society of Sports Physical Therapy Members will need to provide proof of membership to JOSPT when requesting this print upgrade, or JSSPT may regularly provide JOSPT with a list of its members that JOSPT, as described above, will only use to verify membership and will not sell to any third party. JOSPT will handle administration of these subscriptions. There should be minimal administrative burden placed Japanese Society of Sports Physical Therapy. The JOSPT subscription rates quoted above are for 2021 and may increase in subsequent years.

- 3. Recognized journal status:** In consideration of the offers made above, Japanese Society of Sports Physical Therapy designates JOSPT an officially recognized journal of JSSPT and so worthy of the attention of its Members.

**4. Promotion of the Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT) – JOSPT relationship:**

- a. JOSPT will publish the fact that it is an officially recognized journal of Japanese Society of Sports Physical Therapy on JOSPT's Table of Contents and Masthead pages, on JOSPT's website, and in its marketing materials.
- b. Japanese Society of Sports Physical Therapy will announce and regularly promote its special relationship with JOSPT and JOSPT's special JSSPT online-only and print upgrade subscription offers to its Members.
- c. JSSPT and JOSPT agree to include on their respective websites links to each other's sites.

**5. Effective date of agreement and annual renewal:** This agreement between Japanese Society of Sports Physical Therapy and JOSPT is effective as of June 1, 2021 and will remain in effect through May 31, 2022. JSSPT and JOSPT will evaluate and renew this agreement on an annual basis.

Agreed to on \_\_\_\_\_ by:

---

**Executive / Official**  
**Japanese Society of Sports Physical Therapy (JSSPT)**

---

**Executive Director and/or President**  
**Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy, Inc.**

令和3年10月22日

日本学術会議事務局  
学術研究団体担当 各位

前略 平素は大変お世話になっています。『日本学術会議協力学術研究団体の指定にかかる必要な要件及び手続』を拝見させていただいています。

<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/pdf/youken.pdf>

(4) 次の基準を具備する学術に関する機関誌を継続して年1回以上発行（電子発行を含む。）していること。ただし、学術研究団体の連合体の場合は、この限りではない。

⑤ ①から④を具備する機関誌を原則とするが、次の機関誌については、個別審査の上で適切と認められる場合には、当該団体の機関誌とみなすことができる。ア複数の学協会が発行する合同機関誌。ただし、複数の学協会の役割を明示した書類、発行物等を審査し、当該団体の査読や著作権等に関する体制が学術研究団体として適切と認められる場合に限る。

私が理事を務めている一般社団法人日本スポーツ理学療法学会

(<http://jspt.japanpt.or.jp/jsspt/> 令和3年4月1日設立: 資料1) では、日本学術会議における協力学術研究団体の登録を目指しています。日本学術会議協力学術研究団体における機関誌について、海外の学会が発行する学術誌を本学会と Partnership 協力を正式に締結した場合、協力学術研究団体の機関誌として認めてもらえるかについて、事前問い合わせさせていただければと考えています。

世界のスポーツや運動器を専門とする理学療法士が読んでいる学術雑誌の1つに Journal of Orthopaedic and Sports Physical Therapy (JOSPT: <https://www.jospt.org/> 資料2) がございます。その歴史はリンクにある通り、1979年に米国理学療法協会の整形外科スポーツ医学部門により出版されています (<https://www.jospt.org/page/about/history> 資料3)。学術雑誌としての内容は、投稿論文や講座などが多く含まれ

(<https://www.scimagojr.com/journalsearch.php?q=19873&tip=sid> 資料4)、電子化されていてアクセスが良く、impact factor も年々向上し、4点を超えています

(<https://publons.com/journal/30917/journal-of-orthopaedic-sports-physical-therapy/#:~:text=With%20an%20impact%20factor%20of%203.090%2C%20JOSPT%20is,and%20fourteenth%20of%2081%20journals%20in%20sport%20sciences> 資料5)。もちろん、著作権 (copyright) やピアレビュー (peer review) 体制が確立され、各国のスポーツ理学療法学会や運動器理学療法学会がパートナーシップを結び、公式学術雑誌として登録しています (<https://www.jospt.org/page/about/partners> 資料6)。この度、私達団体

が、この学術誌と提携を結ぶことにより、本学会の機関誌として協力学術研究団体の登録が可能であるか、ご質問させていただきます。先方からは、こちらが一般社団法人として了解し、費用（会員1名当たり US\$14）を支払えば、Partnership を締結できることを確認させていただいています。よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本スポーツ理学療法学会

担当理事 赤坂 清和

(埼玉医科大学大学院教授 akasaka-smc@umin.ac.jp)

資料 1



## 日本スポーツ理学療法学会

☰ メニュー



日本スポーツ理学療法学会

## 新着情報

[▶ 一覧へ](#)

[2021.10.09](#) [一般社団法人日本スポーツ理学療法学会 学会役員紹介](#)

---

[2021.10.07](#) [2021年度第1回総会開催](#)

---

[2021.09.22](#) [2022年以降の学術大会長決定](#)

---

[2021.06.17](#) [第1回 IFSPT network meeting 開催](#)

---

[2021.05.17](#) [第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 ホームページ公開](#)

---

[2021.04.16](#) [評議員募集の告示について](#)

---

[2020.05.29](#) [国際スポーツ理学療法学会（IFSPT）からの傷害予防に関する調査研究協力をお願い](#)

---

[2020.05.27](#) [新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する日本スポーツ理学療法学会からの発信](#)

---

[2020.05.02](#) [2019-2020 運営幹事 紹介](#)

---

[2017.12.15](#) [第2回国際スポーツ理学療法学会参加報告](#)

---

[2017.08.04](#) [運営幹事リストを平成29・30年度に更新しました。](#)

---

[2016.04.18](#) [スポーツ活動支援および語学能力の実態調査へのご協力](#)

---

## お知らせ

[▶ 一覧へ](#)

[2021.10.04](#) [一般社団法人日本スポーツ理学療法学会 学会役員紹介](#)

---

[2021.05.24](#) [専門会員B・学生会員 入会申請について](#)

---

[2021.05.21](#) [法人登記完了および役員紹介](#)

---

[2021.05.21](#) [新規評議員候補者の選出について](#)

---



[2021.05.12 「専門会員A」に登録申請された皆様へ](#)

[2021.04.16 評議員募集の告示について](#)

[2020.11.17 学習動画特設サイト](#)



## 日本スポーツ理学療法学会

☰ メニュー

新着情報一覧



お知らせ一覧



概要



学術大会



リンク



お問い合わせ



検索



会員登録

0000117317



[サイトマップ](#)

[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright © 一般社団法人日本理学療法学会連合  
All Rights Reserved.

NEWS

# < JOSPT Cases, Issue 3 available now! >

[Click here to start reading](#)



[Latest](#) [Ahead Of Print](#) [Guidelines](#)

[Open Access](#) [Most Cited](#) [Most Read](#)

 FULL ACCESS • LETTER TO THE EDITOR-IN-CHIEF

## The Therapeutic Alliance May Yet Prove Effective

Edel T. O'Hagan, Hayley B. Leake, Lauren C. Heathcote,  
Tasha R. Stanton, G. Lorimer Moseley

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Volume 51, Issue 10 | October 2021 | Published online September 30, 2021

 FULL ACCESS • LETTER TO THE EDITOR-IN-CHIEF

## Author Response to “The Therapeutic Alliance May Yet Prove Effective”

Gisela Cristiane Miyamoto, Felipe Ribeiro Cabral Fagundes,  
Cristina Maria Nunes Cabral

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Volume 51, Issue 10 | October 2021 | Published online September 30, 2021

🔒 FULL ACCESS • RESEARCH REPORT

## Victorian Institute of Sport Assessment-Achilles (VISA-A) Questionnaire—Minimal Clinically Important Difference for Active People With Midportion Achilles Tendinopathy: A Prospective Cohort Study

Iris F. Lagas, Arco C. van der Vlist, Robert F. van Oosterom, Peter L.J. van Veldhoven, Max Reijman, Jan A.N. Verhaar, Robert-Jan de Vos

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Volume 51, Issue 10 | October 2021 | Published online September 30, 2021

---

🔒 FULL ACCESS • VIEWPOINT

## Manual Therapy: Always a Passive Treatment?

Daniel I. Rhon, Gail D. Deyle

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Volume 51, Issue 10 | October 2021 | Published online September 30, 2021

---

[VIEW MORE →](#)

---

## Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy

[Subscribe](#)

[Submit a Manuscript](#)

Latest Ahead Of Print Guidelines

## Viewpoints

🔒 FULL ACCESS

### The Unknown Prevalence of Postrandomization Bias in 15 Physical Therapy Journals: A Methods Review

Sean P. Riley, Brian T. Swanson, Stephen M. Shaffer, Steven F. Sawyer, Joshua A. Cleland

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Ahead of Print | Published online September 21, 2021

🔒 FULL ACCESS

### Altmetric Score Has a Stronger Relationship With Article Citations Than Journal Impact Factor and Open Access Status: A Cross-Sectional Analysis of 4,022 Sports Science Articles

Danilo de Oliveira Silva, Bianca Taborda, Marcella F. Pazzinatto, Clare Arden, Christian J. Barton

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Ahead of Print | Published online July 1, 2021

🔒 FULL ACCESS

### Poor Reporting of Exercise Interventions for Hamstring Strain Injury Rehabilitation: A Scoping Review of Reporting Quality and Content in Contemporary Applied Research

Ray Breed, David Opar, Ryan Timmins, Nirav Maniar, Harry Banyard, Jack Hickey

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Ahead of Print | Published online September 21, 2021

## JOSPT Twitter

Tweets by @JOSPT




**JOSPT Community**

@JOSPT

Are you sometimes confused when helping patients with shoulder instability 🤔

If so, you'll enjoy the #ClinicalPearls @SuzanneGard shared with us this week on #JOSPTInsights

Listen here 🎧 [ow.ly/LCt750GvJPg](https://ow.ly/LCt750GvJPg)  [#yourJOSPT](#) [#Shoulder](#) [#Instability](#) [#Rehab](#)

Ep 55: Untangling shoulder...

[Embed](#)

[View on Twitter](#)

🔒 FULL ACCESS • EDITORIAL

## Introducing the Journal of Orthopaedic and Sports Physical Therapy

James A. Gould, George J. Davies

*Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*

Volume 1, Issue 1 | July 1979 | Published online July 1, 1979

---

VIEW MORE →

---

### JOSPT Cases

About JOSPT Cases

Submit a Manuscript

Latest Case Reports Musculoskeletal Imaging

---

🔒 FULL ACCESS • EDITORIAL

## Clinical Pearls on How Practitioners Can Best Support Elite Soccer Players to Return to Peak Performance After Injury

Matt Taberner, Sylvain Distin, Olivia Chance, Daniel D. Cohen, Clare L. Ardern

*JOSPT Cases*

Volume 1, Issue 3 | August 2021 | Published online August 16, 2021

---

🔒 FULL ACCESS • CASE REPORT

## Psychologically Informed Practice: 3 Low Back Pain Cases

Jason M. Beneciuk, Sara Baker, Bryan Tachibana, Ryan Vickers, Sara Cristello, Anita L. Davis

*JOSPT Cases*

Volume 1, Issue 3 | August 2021 | Published online August 16, 2021

---

 FULL ACCESS • CASE REPORT

## Differentiating Vestibular and Oculomotor Symptoms in a Pediatric Patient Following Concussion: A Case Report

Anne Lennon, Alissa Conde, Jason Hugentobler

*JOSPT Cases*

Volume 1, Issue 3 | August 2021 | Published online August 16, 2021

---

 FULL ACCESS • MUSCULOSKELETAL IMAGING

## Imaging and Quantification of an Abdominal Muscle Trigger Point Using Shear-Wave Elastography

Jennifer Crane, Brian Young, Shane L. Koppenhaver

*JOSPT Cases*

Volume 1, Issue 3 | August 2021 | Published online August 16, 2021

---

[VIEW MORE →](#)

---

---

## JOSPT Cases

[Copyright Notice](#)

[Privacy Policy](#)

[Terms of Use](#)

## Browse

[Current Issue](#)

[Available Issues](#)

---

## Get JOSPT

[Register](#)

[Subscribe](#)

[Cart](#)

[Sign up](#)

[Permissions](#)

---

## Info Center

[Readers](#)

[Institutions / Libraries](#)

[Authors](#)

[Reviewers](#)

[Patients](#)

[Advertisers](#)

[Help](#)

---

## About JOSPT

[Mission](#)



[History](#)

[Team](#)

[Partners](#)

[News](#)

[Contact Us](#)

# JOSPT

©2021 Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy d/b/a Movement Science Media  
Powered by Atypon® Literatum

## History

The *Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*<sup>®</sup> was first published in the summer of 1979 by the Orthopaedic and Sports Medicine Sections of the American Physical Therapy Association (APTA). *JOSPT*<sup>®</sup>'s launch took place within 10 years of the founding of the Sections. At that time, the combined membership of these Sections approached 5,000.

Today, what are now the Academy of Orthopaedic Physical Therapy and the American Academy of Sports Physical Therapy together number more than 22,000. Initially published as a quarterly journal, *JOSPT* content is now delivered monthly in print and continuously online to APTA Academy members as well as 10,000 additional subscribers located in the United States and more than 60 countries around the world. *JOSPT* is also incorporated as a nonprofit organization, separate from both the Sections and APTA.

Forty plus years ago, its founders' vision for *JOSPT* centered on the need for a premier "communication forum" that would promote "the knowledgeable application of the most recent advances in medical research and clinical treatment to facilitate and improve health care delivery to the patient with a musculoskeletal condition." The mission of *JOSPT* at its launch was "to further the understanding of basic sciences as applied to musculoskeletal conditions and to promote justification of clinical procedures in orthopaedics and sports medicine."

While *JOSPT*'s audience has grown, its print frequency has increased, and its availability electronically has expanded, its original mission remains essentially the same. *JOSPT*'s current mission, affirmed by *JOSPT*'s Board of Directors in January 2019, is to "publish scientifically rigorous content and promote its application to movement-related health".

## Editors—Past and Present

- *Summer 1979–February 1987:*  
James A. Gould, PT, MS, and George J. Davies, MEd, PT, MA, ATC, REMT, CET
- *March 1987–December 1990:*  
James A. Gould, PT, MS
- *January 1991–December 1998:*  
Gary L. Smidt, PT, PhD, FAPTA
- *January 1999–December 2001:*  
Richard P. Di Fabio, PT, PhD
- *January 2002–December 2015:*

Guy G. Simoneau, PT, PhD, ATC

- *January 2016–December 2017:*  
J. Haxby Abbott, DPT, PhD, FNZCP
- *January 2018–June 2019 (Interim Editor-in-Chief; now Editor-in-Chief Emeritus):*  
Guy G. Simoneau, PT, PhD, FAPTA
- *July 2019–present (Editor-in-Chief):*  
Clare L. Ardern, PT, PhD

---

**JOSPT Cases**

**Copyright Notice**

**Privacy Policy**

**Terms of Use**

## **Browse**

Current Issue

Available Issues

---

## **Get JOSPT**

Register

Subscribe

Cart

Sign up

Permissions

---

## **Info Center**

Readers

Institutions / Libraries

Authors

[Reviewers](#)

[Patients](#)

[Advertisers](#)

[Help](#)

---

## **About JOSPT**

[Mission](#)

[History](#)

[Team](#)

[Partners](#)

[News](#)

[Contact Us](#)

# JOSPT

©2021 Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy d/b/a Movement Science Media  
Powered by Atypon® Literatum

also developed by scimago:  SCIMAGO INSTITUTIONS RANKINGS

**SJR** Scimago Journal & Country Rank

Enter Journal Title, ISSN or Publisher Name 

Home Journal Rankings Country Rankings Viz Tools Help About Us

**Chicago Booth Executive MBA**  
Virtual 1-on-1 Session, Oct 26

Learn from our award-winning faculty and join a global, collaborative community.

[apply.chicagobooth.edu](http://apply.chicagobooth.edu) **OPEN**

## Journal of Orthopaedic and Sports Physical Therapy

COUNTRY	SUBJECT AREA AND CATEGORY	PUBLISHER	H-INDEX
United States  Universities and research institutions in United States	Health Professions Physical Therapy, Sports Therapy and Rehabilitation Sports Science  Medicine Medicine (miscellaneous)	Movement Science Media	<b>121</b>
PUBLICATION TYPE	ISSN	COVERAGE	INFORMATION
Journals	01906011, 19381344	1979-2020	<a href="#">Homepage</a> <a href="#">How to publish in this journal</a> <a href="mailto:clare.ardern@ki.se">clare.ardern@ki.se</a>

### SCOPE

The Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy® (JOSPT®) publishes scientifically rigorous content and promotes its application to movement-related health. JOSPT® aims to be the leading international source of knowledge for movement-related health. To this end, JOSPT features the latest evidence-based research and clinical cases in musculoskeletal health, injury, and rehabilitation, including physical therapy, orthopaedics, sports medicine, and biomechanics. The Journal accepts manuscripts for review from any discipline that addresses orthopaedic or sports physical therapy from any relevant perspective, including clinical practice and outcomes, kinesiology, motor behavior, fitness, gerontology, neuroscience, or epidemiology. While clinical implications should be discussed in all manuscripts submitted for review, JOSPT recognizes the importance of all research types in advancing all aspects of musculoskeletal and sports-related practice. Accordingly, the Journal seeks to publish research spanning the entire spectrum of clinical, basic, and translational science.

 Join the conversation about this journal

**Impact Factor Journals**

[Learn More](#)

Dove Medical Press

**Impact Factor Journals**

[Learn More](#)

Dove Medical Press

Quartiles

**Impact Factor Journals** Learn Mc

Dove Medical Press

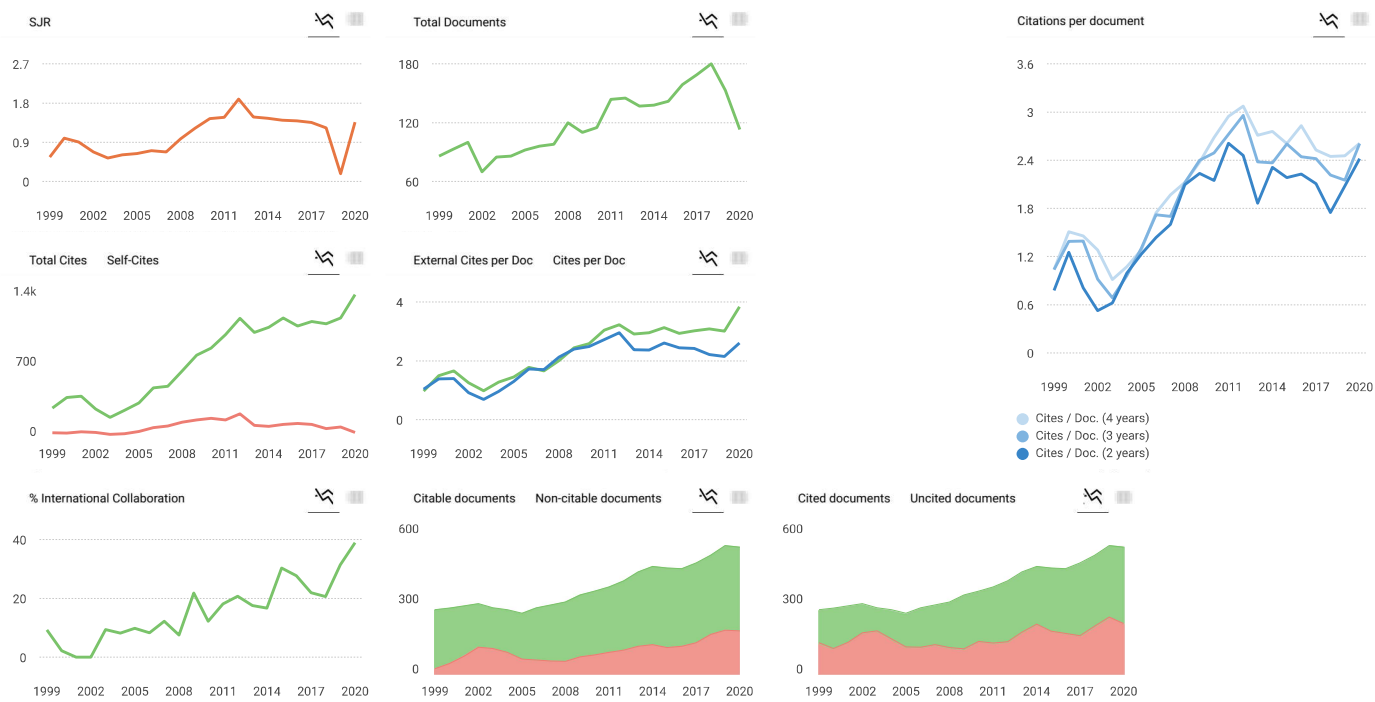
FIND SIMILAR JOURNALS

options

1 Physical Therapy in Sport NLD <b>75%</b> similarity	2 BMJ Open Sport and Exercise Medicine GBR <b>70%</b> similarity	3 British Journal of Sports Medicine GBR <b>68%</b> similarity	4 Clinical Journal of Sport Medicine USA <b>67%</b> similarity	5 Apunts Medicina de l'Esport ESP <b>63%</b> similarity
---	---	---	---	---

**Impact Factor Journals** Learn Mc

Dove Medical Press



Journal of Orthopaedic and Sports Physical Therapy

← Show this widget in your own website

Just copy the code below and paste within your html code:

Q1 Medicine (miscellaneous) best quartile

SJR 2020 1.37

powered by scimagojr.com

```
<a href="https://www.scimagojr.com" >
```

**SCImago Graphica**

Explore, visually communicate and make sense of data with our **new free tool**.

Get it

**Chicago Booth Executive MBA - Virtual 1-on-1 Session, Oct 26**

Learn from our award-winning faculty and join a global, collaborative community. [apply.chicagobooth.edu/executive-mba](https://apply.chicagobooth.edu/executive-mba)

Metrics based on Scopus® data as of April 2021

**Ehsan** 7 months ago

hi dear operator  
 could you please illustrate what happens to this journal that its IF decreased???? its a little strange...  
 thanks

reply

**Melanie Ortiz** 7 months ago

Dear Ehsan, thank you very much for your comment. SCImago Journal and Country Rank uses Scopus data, our impact indicator is the SJR, Unfortunately, we cannot help you concerning the IF.  
 Best Regards, SCImago Team

SCImago Team

**Edith Holmes** 1 year ago

Please let me know to whom I might write to express our concern that the metrics Scimago/SJR is reporting for the Journal of Orthopaedic

reply



**Melanie Ortiz** 1 year ago

SCImago Team

Dear Edith,

You can contact us here or through [contact@scimago.es](mailto:contact@scimago.es)

Best Regards, SCImago Team



**Allami Ibtihal** 1 year ago

Dear All

I would like to publish my research in your journal.

How can I do it

Thanks

reply



**Melanie Ortiz** 1 year ago

SCImago Team

Dear Allami,

thank you for contacting us.

We are sorry to tell you that SCImago Journal & Country Rank is not a journal. SJR is a portal with scientometric indicators of journals indexed in Elsevier/Scopus.

Unfortunately, we cannot help you with your request, we suggest you visit the journal's homepage (See [submission/author guidelines](#)) or contact the journal's editorial staff, so they could inform you more deeply.

Best Regards, SCImago Team



**Debbie Clarke** 3 years ago

Hi, my name is Debbie Clarke. I am in a transitional Doctor of Physical Therapy program. I have some questions regarding the process to get a manuscript published in your journal.

- 1) Can I please have the contact info for the Editor, Editor assistant or contact person for submission?
- 2) I would like to confirm the submission web address. Is it: <http://mc.manuscriptcentral.com/jospt>
- 3) What is your acceptance rate of the manuscripts submitted that are published in your journal?
- 4) Is there a link to information regarding page formatting guidelines?
- 5) Is there a number of words limit for the article?
- 6) Are there any title parameters?

Thank you very much for your assistance,

Debbie Clarke, PT, MPT, CIDN

[d.clarke@usa.edu](mailto:d.clarke@usa.edu)

University of St. Augustine Health Sciences

reply



**Elena Corera** 3 years ago

SCImago Team

Please, check out our FAQs <https://www.scimagojr.com/help.php?q=FAQ>

#### Leave a comment

Name

Email

(will not be published)



私はロボットではありません  
CAPTCHA  
プログラマー - 利用規約

Submit

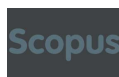
The users of Scimago Journal & Country Rank have the possibility to dialogue through comments linked to a specific journal. The purpose is to have a forum in which general doubts about the processes of publication in the journal, experiences and other issues derived from the publication of papers are resolved. For topics on particular articles, maintain the dialogue through the usual channels with your editor.

---

Developed by:



Powered by:



Follow us on @ScimagoJR

Scimago Lab, Copyright 2007-2020. Data Source: Scopus®

EST MODUS IN REBUS  
Horatio (Satire 1, 1, 106)

---

資料 5

Download Web of Science™ My Research Assistant: Bring the power of the Web of Science to your mobile device, wherever inspiration strikes. ×



BROWSE COMMUNITY FAQs



LOG IN

REGISTER

WEB OF SCIENCE

Home ▶ Journals/Conferences ▶ Journal/Conference Details



# Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy

## ABOUT

The Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy® (JOSPT®) publishes scientifically rigorous, clinically relevant content for physical therapists and others in the health care community to advance musculoskeletal and sports-related practice globally. To this end, JOSPT features the latest evidence-based research and clinical cases in musculoskeletal health, injury, and rehabilitation, including physical therapy, orthopaedics, sports medicine, and biomechanics.

With an impact factor of 3.090, JOSPT is among the highest ranked physical therapy journals in Clarivate Analytics's Journal Citation Reports, Science Edition (2017). JOSPT stands eighth of 65 journals in the category of rehabilitation, twelfth of 77 journals in orthopedics, and fourteenth of 81 journals in sport sciences. JOSPT's 5-year impact factor is 4.061.

## ESSENTIAL SCIENCE INDICATORS FIELD

Clinical Medicine

VISIT WEBSITE

## PUBLISHED BY



JOSPT

## REVIEW POLICY ON PUBLONS [?](#)

- Does not allow reviews to be publicly displayed
- Only allows reviewers to display the journal they reviewed for



**REVIEWS**

Total: **463**

In accordance with Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy's editorial policy, review content is not publicly displayed on Publons.

**INTERESTED IN REVIEWING FOR THIS JOURNAL?**

We can put registered members of Publons' reviewer community in touch with partnered journals they would like to review for. [Register now](#) to let Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy know you want to review for them.

**TOP HANDLING EDITORS ON PUBLONS (MANUSCRIPTS HANDLED)**



(42) Stuart Warden

**EDITORIAL BOARD MEMBERS ON PUBLONS**

Publons users have indicated that they sit on Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy's editorial board but we are unable to verify these claims. If you are an administrator for Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy, please [get in touch](#) to find out how you can verify the contributions of your editorial board members [and more](#).

**TOP REVIEWERS ON PUBLONS (MANUSCRIPTS REVIEWED IN LAST 12 MONTHS)**



(5) Sheree Bekker



(4) Annalie Basson



(3) Joshua Zadro



(3) Giovanni E Ferreira



(3) Patrick J Owen



(2) Lance M. Mabry



(2) Paul Salanh



(2) Jessica Stanhope

**ENDORSED BY**



**JOURNAL/CONFERENCE ENDORSEMENT**

**ENDORSE THIS JOURNAL**





Send Questio...

Researchers

Our Mission



Send Reviews

COVID-19 index

In the Press



Clarivate blog

Publications

Logos

Journals

Terms, Policies & Gu...

Institutions

API



資料 6

JOSPT



Home &gt; About JOSPT &gt; Partners

## Partners

The *Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy*<sup>®</sup> is the official journal of the American Physical Therapy Association's Academy of Orthopaedic Physical Therapy and American Academy of Sports Physical Therapy.



## International Partners

The following professional organizations currently provide online access to *JOSPT* for their members as a membership benefit. [Click here](#) to see upcoming conferences hosted by *JOSPT*'s partners.



**ARGENTINA**  
Asociación de  
Kinesiología  
del Deporte (AKD)



**AUSTRALIA**  
Sports and Exercise  
Physiotherapy  
Australia (SEPA),  
Australian  
Physiotherapy  
Association (APA)  
–Titled Members



**AUSTRIA**  
Physio Austria  
(PA),  
the Austrian  
Physiotherapy  
Association



**BRAZIL**  
Sociedade Nacional  
de Fisioterapia  
Esportiva (SONAFE)



**BRAZIL**  
Associação dos  
Osteopatas do  
Brasil (AOB)



**CANADA**  
Orthopaedic Division,  
Canadian  
Physiotherapy  
Association (CPA)



**CANADA**  
Canadian Academy  
of Manipulative  
Physiotherapy  
(CAMPT)



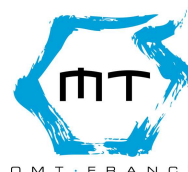
**CHILE**  
Sociedad Chilena de  
Kinesiología del  
Deporte (SOKIDE)



**DENMARK**  
Danish  
Musculoskeletal  
Physiotherapy  
Association (DMPA)



**FINLAND**  
Suomen Ortopedisen  
Manuaalisen Terapian  
Yhdistys ry (SOMTY)



**FRANCE**  
Orthopaedic  
Manual Therapy-  
France (OMT-  
France)



**FRANCE**  
Société Française des  
Masseurs-  
Kinésithérapeutes du  
Sport (SFMKS)



**GERMANY**

German Federal  
Association of  
Manual Therapists  
(DFAMT)

**GREECE**

Association of  
Manipulative  
Physiotherapists of  
Greece (AMPG)

**INDIA**

Manual Therapy  
Foundation of  
India (MTFI)

**INDONESIA**

Indonesia Sport  
Physiotherapy  
Community (ISPC)

**ISRAEL**

Israeli  
Physiotherapy  
Society (IPTS)

**ITALY**

Gruppo Di Terapia  
Manuale (GTM),  
Associazione Italiana  
Fisioterapisti (AIFI)

**ITALY**

Italian Sports  
Physical Therapy  
Association  
(GIS Sport-AIFI)

**LUXEMBOURG**

Société  
Luxembourgeoise de  
Kinésithérapie du  
Sport (SLKS)

**NEW ZEALAND**

Sports & Exercise  
Physiotherapy New  
Zealand (SEP NZ)

**NORWAY**

Norwegian Sport  
Physiotherapy Group  
(NSPG) of the  
Norwegian  
Physiotherapist  
Association

**PORTUGAL**

Associação  
Portuguesa de  
Fisioterapeutas  
(APFISIO)

**SINGAPORE**

Singapore  
Physiotherapy  
Association (SPA)



**SINGAPORE**  
Sports Medicine  
Association  
Singapore (SMAS)



**SOUTH AFRICA**  
Orthopaedic  
Manipulative  
Physiotherapy Group  
(OMPTG), South  
African Society of  
Physiotherapy (SASP)

**SPORTFISIO**

**SWITZERLAND**  
Swiss Sports  
Physiotherapy  
Association (SSPA)



**TURKEY**  
Association  
of Turkish Sports  
Physiotherapists  
(ATSP)



**UNITED KINGDOM**  
Musculoskeletal  
Association of  
Chartered  
Physiotherapists  
(MACP)



**EUROPE**  
European Society of  
Shoulder and Elbow  
Rehabilitation  
(EUSSER)

---

## International Alliances

*JOSPT* currently has a special relationship with or offers special subscription rates for the members of the following professional organizations:





Faggruppen  
for manuellterapi



**NORWAY**

Norwegian Manual  
Therapy  
Group (NMTG)  
of the Norwegian  
Physiotherapist  
Association

**SWEDEN**

Ortopedisk Manuell  
Terapi (OMT) Sweden

**SWEDEN**

Sektionen för Fysisk  
Aktivitet och  
Idrottsmedicin  
(FYIM)

**UNITED  
KINGDOM**

The Chartered  
Society of  
Physiotherapy, UK  
(CSP)



**IFSPPT**



**IFOMPT**  
The Global Leader  
in OMPT Excellence

**IFSPPT**

International  
Federation of Sports  
Physical Therapy

**IFOMPT**

International  
Federation of  
Orthopaedic  
Manipulative Physical  
Therapists

---

**JOSPT Cases**

**Copyright Notice**

**Privacy Policy**

**Terms of Use**

## **Browse**

Current Issue

Available Issues

---

## **Get JOSPT**

Register

Subscribe

Cart

Sign up

Permissions

---

## **Info Center**

Readers

Institutions / Libraries

Authors

Reviewers

Patients

Advertisers

Help

---

## **About JOSPT**

Mission

[History](#)

[Team](#)

[Partners](#)

[News](#)

[Contact Us](#)

# JOSPT

©2021 Journal of Orthopaedic & Sports Physical Therapy d/b/a Movement Science Media  
Powered by Atypon® Literatum

## (概算)御見積書

日本スポーツ理学療法学会 御中

2021年8月31日

下記のとおり御見積申し上げます

受渡期日 \_\_\_\_\_  
 受渡場所 \_\_\_\_\_  
 取引方法 \_\_\_\_\_  
 有効期限 30日間 \_\_\_\_\_

東京都荒川区西尾久7丁目12番16号  
 創文印刷工業株式会社  
 TEL 03-3893-0111  
 FAX 03-3893-6611

## ●電子版学術誌作成費用

合計金額 ¥313,720 (消費税含む)		数量	単位	単価	金額	備考
品名						
<b>1, DTP・組版費用</b>						
①表紙作成		2	ページ	5,000	10,000	※希望デザインによって異なります
②本文作成		50	ページ	2,000	100,000	
③写真/図版修正(編集・補正)		30	点	500	15,000	※1論文あたり6点の想定
④デザイン費用(表紙)		1	点	20,000	20,000	※参考値
※A4 2枚のデザインを想定。						
<b>2, 校正費用</b>						
①内校		5	論文	5,000	25,000	
②校正(校正担当チェック)		5	論文	5,000	25,000	
※てにをはのチェック、誤字脱字のチェック、修正反映のチェックを想定						
※1論文2,000文字の想定。文字数により金額が変動いたします。						
③著者校正メール対応		5	件	800	4,000	
<b>3, 進捗管理、その他業務</b>						
①管理表入力(タイトル、概要、著者情報をドライブ上のExcelに記入)		5	件	800	4,000	
②最終原稿受領後のワード、パワーポイント資料格納作業		1	式		5,000	※5論文分を格納する想定
<b>4, PDF作成</b>						
①冊子データ作成		1	式		20,000	
②電子版用PDFデータ作成費用		5	件	1,000	5,000	
③PDFナンバリング及びURLリンク		150	件	100	15,000	※参考値、数量につき変動
<b>5, 管理調整費(15%)</b>						
		1	式	37,200	37,200	
小計					285,200	
消費税(10%)					28,520	
合計					313,720	

日本スポーツ理学療法学会 殿

下記の通りご請求申し上げます。

合計金額 **546,810円**

株式会社 アイペック

代表取締役 廣 田 隆

東京都豊島区巣鴨1丁目24番地12号

〒170-0002 電話 03 (5978) 4067

FAX 03 (5978) 4068

雑誌名	日本スポーツ理学療法学会誌				巻	号
判別	A4型	部数		納期		
	種目	摘 要		数 量	単価	金 額
組 版 料	表紙	本冊		C		
		別冊				
		和文		80 頁	4,000	320,000
印 刷 料	表紙	本冊 製版代含む		C		
		別冊 製版代含む		口		
	本文	製版代含む	8P掛	台		
			4P掛	台		
			2P掛	台		
	カラー頁			頁		
用 紙 料	表紙	本冊				
		別冊				
	本文					
加 工 費 ・ 諸 経 費	写 真			30 枚	500	15,000
	図 版			20 枚	300	6,000
	PDF納品			10 論文	2,000	20,000
	営業費	10%				36,100
	編集費	編集内容は別紙を参照ください		1 式	100,000	100,000
	J-Stage 納品	J-Stage XML (書誌) +PDF		式		
	J-Stage納品	J-Stage XML (全文) +PDF		式		
	PMC納品	PMC XML+PDF		式		
小 計						¥497,100
消費税 10%						¥49,710
合計金額						¥546,810

備考 原稿はScholarOneManuscriptで受理後のデータ入稿。  
編集委員長校正は2回・著者校正は1回までとします。

取引銀行 巢鴨信用金庫 東武練馬支店

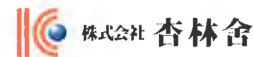
普通預金 551920

郵便振替 00180-1-95970

日本スポーツ理学療法学会様  
アイベックでの編集作業について

1. ScholarOneManuscript で受理となった論文のエキスポート  
※S1Mでの査読につきましては、学会様でのご対応をお願い申し上げます。
2. 投稿規定に沿っているかを確認し、著者に最終原稿送付の依頼を行う。
  - ・抄録、キーワード、など過不足がないか。
  - ・引用文献は投稿規程に沿って記載されているか などを確認のうえ修正を依頼する。
3. 最終原稿受領後、編集作業を行う。
  - ・用語の統一
  - ・誤字脱字
  - ・図表の組み直し
  - ・引用文献の修正 など。
4. 組版  
2段組み、図表の配置など、規程のレイアウトへの組み換えを行う。
5. 著者校正（著者校正は原則1回のみ）  
編集・組版時に要確認となった点の著者への確認も同時に行う。
6. 編集委員長校正  
すべての著者校正および修正が完了後、順番に並べページを通して、一式を編集委員長に校正を依頼する。
7. 校了と納品  
編集委員長校正の修正が完了後、校了とし、PDFを納品する。

一般社団法人 日本スポーツ理学療法学会 御中



(999)

下記の通り御見積いたします。

〒 114-0024  
 東京都北区西ヶ原3-46-10  
 TEL 03-3910-4311 FAX 03-3949-0230  
 担当者： 鳥海 英夫  
 Mail: toriumi@kyorin.co.jp

**御見積金額**                      **¥706,576.-**

部長	課長	担当者

品名	内容
	オンライン投稿査読システム「ScholarOne Manuscripts」

内 容	数 量	単 価	金 額
オンライン投稿査読システム「ScholarOne Manuscripts」			
<b>【初期導入費用】</b>			
初期設定料	1 式	420,000.00	420,000
<b>【年間利用料】</b> ご利用期間：1年間			
システム利用料	1 式	189,750.00	189,750
サポート料 (年間投稿数40論文まで)	1 式	32,592.00	32,592

本体価格	642,342
消費税額 (10%)	64,234
<b>合計金額</b>	<b>706,576</b>

- ・修正論文は課金対象外です。
- ・年間投稿数が40を超えた場合、1投稿につき¥5,559の追加料金をご請求致します。
- ・年間利用料には月1GBまでのデータ保存料金が含まれますが、超過した場合には、毎月¥20/10MBの別途金額が発生致します。

報告		議案説明時間	約 5 分間 時 分 ~ 時 分
		補足説明時間 (希望がある場合のみ)	約 分間 時 分 ~ 時 分
提出者*	岡戸 敦男	説明者*	岡戸 敦男、鈴木 仁人
所属	委員会 / <input checked="" type="checkbox"/> 学会 / 研究会 名称[日本スポーツ理学療法学会]		
役職	理事長 / 副理事長 / 総務担当理事 / 委員長 / <input checked="" type="checkbox"/> 理事 / その他 ( )		
報告 議題	第 8 回日本スポーツ理学療法学会学術大会の企画書等について  Key word* ; 日本スポーツ理学療法学会、第 8 回学術大会、事業計画		
内容及び 提出趣旨	<p>令和 3 年度 (2021 年度)、12 月 11 日、12 日に開催予定の第 8 回日本スポーツ理学療法学会学術大会について、本事業計画の内容 (企画書・日程表・予算書) を別紙の通り提出する。</p> <p><b>【事業計画】</b>            大会名 : 第 8 回日本スポーツ理学療法学会学術大会            会期 : 令和 3 年 (2021 年) 12 月 11 日・土曜日、12 日・日曜日            ※演題発表 (主題演題、一般演題) は 11 月 19 日から事前視聴可能            場所 : WEB 開催            学術大会長 : 岡戸 敦男</p> <p>事前参加登録者数 (10 月 27 日現在)            会員 : 572 名            非会員 PT : 5 名            他職種 : 6 名            学生 : 81 名 合計 : 664 名</p> <p style="text-align: right;">添付資料 : <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (別紙 6 枚)</p>		
特記事項			

\*提出者 : 発表者は太字標記 / \*Keyword は 3~5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと



第 8 回日本スポーツ理学療法学会学術大会  
企画書  
【最終版】

第 8 回日本スポーツ理学療法学会学術大会  
準備委員会

## 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会企画書

### 開催趣意

世界では新型コロナウイルスが猛威を振るい、我が国においても感染拡大防止のための「緊急事態宣言」が発出され、スポーツ活動は自粛・縮小となり、多くの大会・イベントも中止や延期になっている現状にあります。しかし、我が国では世界的なスポーツメガイイベントが2019年にラグビーワールドカップ2019日本大会が開催され、2021年には1年延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定であり、それらへの対応に向けて、国際基準の知識と技能が求められ、その養成がなされてきました。

また、2022年には1年延期となったワールドマスターズゲームズ2021関西が開催され、国内の生涯スポーツへの取り組みも行われてきています。第2期スポーツ基本計画においても、競技スポーツの競技力向上のみならず、障がい者スポーツや生涯スポーツの実施率の向上、そして、スポーツ医学・科学の知見を活用した健康寿命の延伸への取り組みなどが推進されています。

このような社会背景の中、今後、スポーツ理学療法への期待と活動範囲はさらに大きくなっていくことが考えられます。これらに 대응するためには、スポーツ理学療法の国際的動向や国際基準を見据えつつ、スポーツ理学療法がカバーすべき範囲や社会的役割を整理し、学術レベルの向上を図り、質の高いスポーツ理学療法を提供できるように発展させていかなければなりません。

これらのことから、テーマを「スポーツ理学療法の更なる発展に向けて」とし、第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会を開催いたします。

企画しているプログラムとして、我が国のスポーツの動向に関する特別講演、研究の質の向上などを図るための教育講演、東京2020大会に関するシンポジウム、国内・国外のスポーツ理学療法に関する講演、障がい者スポーツにおける理学療法やスポーツ理学療法の領域を考えるシンポジウム、一般演題発表を予定しております。開催方法は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、WEB開催といたします。特別講演、教育講演、講演、シンポジウム等は開催日にライブ配信にて実施し、主題演題発表、一般演題発表は開催前に期間限定のオンデマンド視聴をしたのち、開催日にライブ参加者による質疑応答を実施いたします。

本学術大会を通じて、皆様とともにスポーツ理学療法に関係する領域を整理し、学術レベルの向上を図る機会とし、我が国のスポーツ理学療法の更なる発展につなげていきたいと考えます。

第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会  
学術大会長 岡戸 敦男

## 学術大会概要

1. 名 称 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会
2. 会 期 2021年12月11日(土曜日)～12月12日(日曜日)  
※演題発表(主題演題、一般演題)は11月19日から事前視聴可能
3. 会 場 WEB開催
4. 学術大会長 岡戸 敦男(トヨタ自動車株式会社リコンディショニングセンター)
5. 副学術大会長 相澤 純也(順天堂大学):第9回学術大会長
6. 準備委員長 鈴川 仁人(横浜市スポーツ医科学センター)
7. 準備委員 小山 貴之(日本大学)  
寒川 美奈(北海道大学)  
永野 康治(日本女子体育大学)  
田村耕一郎(広瀬医院)  
水田 洋平(伊藤整形外科)  
佐藤 真樹(井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)  
佐藤 正裕(八王子スポーツ整形外科)  
宮崎 喬平(大阪回生病院)  
平野佳代子(井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)  
吉原 圭祐(井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)  
瀧口 耕平(神戸大学医学部附属病院)  
水谷 将和(井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)  
坂本 雅昭(群馬大学大学院保健学研究科)  
伊藤 浩充(甲南女子大学)
8. 参加者見込 820人
9. 一般演題 75題(主題8題、口述67題(英語演題含む))
10. 事務局 井戸田整形外科名駅スポーツクリニック リハビリテーション部  
担当者:吉原 圭祐  
TEL:052-589-1608  
E-mail:jptasp@yahoo.co.jp

### 11. 学術大会企画

#### ○学術大会長講演

テーマ スポーツ理学療法の更なる発展に向けて

大会長 岡戸 敦男(トヨタ自動車株式会社リコンディショニングセンター)

司会 相澤 純也(順天堂大学)

○特別講演 1

テーマ 運動学習の基礎知識

講師 筒井清次郎（東海学園大学）

司会 岡戸 敦男（トヨタ自動車株式会社リコンディショニングセンター）

○特別講演 2

テーマ 持続可能性を追求する社会におけるスポーツの役割-IOC の動向を手かぎりに

講師 來田 享子（中京大学）

司会 板倉 尚子（日本女子体育大学）

○教育講演

テーマ 理学療法科学の追求—学会法人化が意味するものと為すべき責任

講師 高橋 哲也（順天堂大学）

司会 坂本 雅昭（群馬大学）

○講演 1

テーマ 東京 2020 大会における医療体制とレガシー

講師 片寄 正樹（札幌医科大学）

司会 田村 耕一郎（広瀬医院）

○講演 2

テーマ IFSPT について

講師 Luciana de Michelis Mendonça（IFSPT President）

司会 寒川 美奈（北海道大学）

○講演 3

テーマ 理学診療ガイドライン—スポーツ理学療法

講師 赤坂 清和（埼玉医科大学）、浦辺 幸夫（広島大学）、渡邊 裕之（北里大学）

司会 伊藤 浩充（甲南女子大学）

○シンポジウム 1

テーマ 東京 2020 大会における PT サービスとレガシー

シンポジスト 小林 寛和（日本福祉大学）、玉置 龍也（横浜市スポーツ医科学センター）、鈴木 章（国立スポーツ科学センター）、鈴木 仁人（横浜市スポーツ医科学センター）、鳥居 昭久（東京保健医療専門職大学）

座長 小林 寛和（日本福祉大学）

○シンポジウム 2

テーマ 障がい者アスリートへの理学療法科学の展開

シンポジスト 居村 修司（岸和田徳洲会病院）、一場 友実（杏林大学）、信太 奈美（東京都立大学）

座長 奥田 邦晴（大阪府立大学）、鳥居 昭久（東京保健医療専門職大学）

○シンポジウム3

テーマ スポーツ理学療法の領域を考える

シンポジスト 加藤 巧（目白大学）、美崎 定也（苑田会人工関節センター）、廣幡 健  
二（東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター）

座長 相澤 純也（順天堂大学）、小山 貴之（日本大学）

1 2. 日程表

別紙資料を参照してください。

1 3. 予算書

別紙資料を参照してください。

第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 日程表

第1日目 2021年12月11日(土曜日)

		第1会場	第2会場
9時	00		
	10		
	20		
	30		
	50	開会式	
10時	00	大会長講演 「スポーツ理学療法への更なる発展に向けて」 講師: 岡戸敦男 司会: 相澤純也	
	10		
	20		
	30		
	50	教育講演 「理学療法科学の追求 —学会法人化が意味するものと 為すべき責任」 講師: 高橋哲也(順天堂大学) 司会: 坂本雅昭(群馬大学)	
11時	00		一般演題発表1 「評価1」 座長: 岡村幸枝(スポーツ医・科学研究 所)
	10		
	20		
	30	主題演題発表 1 「スポーツ外傷・障害予防1」 座長: 前田慶明(広島大学)	一般演題発表2 「評価2」 座長: 高橋佐江子(国立スポーツ科学セ ンター)
	50		
12時	00		一般演題発表3 「地域・高齢者・COVID」 座長: 粕山達也(健康科学大学)
	10		
	20		
	30	特別講演 1 「運動学習の基礎知識」 講師: 筒井清次郎(東海学園大学) 司会: 岡戸敦男(トヨタ自動車(株)リコ ンデューニングセンター)	
	50		
13時	00		
	10		
	20		
	30		
	50	講演1「東京2020大会における医療体制と レガシー」講師: 片寄正樹(札幌医科大学) 司会: 田村耕一郎(広瀬医院)	一般演題発表4 「スポーツ外傷・障害予防2」 座長: 江玉睦明(新潟医療福祉大学)
14時	00		
	10		
	20		
	30		
	50	講演1「東京2020大会におけるPTサービスとレガ シー」 シンポジスト: 小林寛和(日本福祉大学) 玉置龍也(横浜市スポーツ医学センター) 鈴木 章(国立スポーツ科学センター) 鈴川仁人(横浜市スポーツ医学センター) 鳥居昭久(東京保健医療専門職大学) 座長: 小林寛和(日本福祉大学)	一般演題発表5 「上肢のスポーツ外傷・障害1」座長: 高 村隆(東京スポーツ&整形外科クリニッ ク)
15時	00		
	10		
	20		
	30	シンポジウム 1 「東京2020大会におけるPTサービスとレガ シー」 シンポジスト: 小林寛和(日本福祉大学) 玉置龍也(横浜市スポーツ医学センター) 鈴木 章(国立スポーツ科学センター) 鈴川仁人(横浜市スポーツ医学センター) 鳥居昭久(東京保健医療専門職大学) 座長: 小林寛和(日本福祉大学)	一般演題発表6 「上肢のスポーツ外傷・障害2」 座長: 坂田淳(トヨタ記念病院)
	50		
16時	00		一般演題発表7 「頭頸部・体幹のスポーツ外傷・障害」 座長: 佐藤正裕(八王子スポーツ整形外 科)
	10		
	20		
	30		
	50	特別講演 2 「持続可能性を追求する社会における スポーツの役割-IOOの動向を手がかり に」 講師: 来田享子(中京大学) 司会: 板倉尚子(日本女子体育大学)	
17時	00		
	10		
	20		
	30		
	50		

第2日目 2021年12月12日(日曜日)

		第1会場	第2会場
9時	00		
	10		
	20	シンポジウム 2 「障がいアスリートへの理学療法科 学の展開」 シンポジスト: 居村修司(岸和田徳洲会病院) 一場友実(杏林大学) 信太奈美(東京都立大学) 座長: 奥田邦晴(大阪府立大学) 鳥居昭久(東京保健医療専門職大 学)	
	30		
	50		
10時	00		一般演題発表8 「ACL1」 座長: 今井覚志(慶應義塾大学病院)
	10		
	20		
	30	主題演題発表 2 「女性のスポーツ医学」 座長: 平野佳代子(井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック)	一般演題発表9 「ACL2」 座長: 瀧口耕平(神戸大学医学部附属 病院)
	50		
11時	00		一般演題発表10 「ACL3」 座長: 木村佳記(大阪大学医学部附属 病院)
	10		
	20		
	30	講演 2「IFSPTについて」※ビデオ講 演 講師: Luciana de Michelis Mendonça (IFSPT) 司会: 寒川美奈(北海道大学)	一般演題発表11 「下肢のスポーツ外傷・障害1」 座長: 小林匠(北海道千歳リハビリテ ーション大学)
	50		
12時	00		一般演題発表12 「下肢のスポーツ外傷・障害2」 座長: 中川和昌(高崎健康福祉大学)
	10		
	20		
	30	講演 3 「理学療法ガイドライン スポーツ理学療法」 講師: 赤坂清和(埼玉医科大学) 浦辺幸夫(広島大学) 渡邊裕之(北里大学) 司会: 伊藤浩充(甲南女子大学)	一般演題発表13 「子どものスポーツ理学療法」 座長: 井野拓実(北海道科学大学)
	50		
13時	00		
	10		
	20		
	30		
	50	シンポジウム 3 「スポーツ理学療法の領域を考え る」 シンポジスト: 加藤 巧(目白大学) 美崎定也(苑田会人工関節センター) 廣幡健二(東京医科歯科大学スポーツ 医学学術センター) 座長: 相澤純也(順天堂大学) 小山貴之(日本大学)	
14時	00		
	10		
	20		
	30		
	50		
15時	00		
	10		
	20		
	30		
	50		
16時	00		
	10		
	20		
	30		
	50		
17時	00		
	10		
	20		
	30		
	50		

※一般演題発表は、オンデマンド配信による事前視聴を実施し、当日は  
質疑応答を予定。  
※主題演題は、オンデマンド配信による事前視聴を実施し、当日も発表ス  
ライドを配信したのち、質疑応答を予定。

※IFSPT: The International Federation of Sports Physical Therapy

# 予算書

第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会

収入の部						
	科目	単価(円)	数量	金額(円)	備考	
1	参加登録費	会員 事前登録	8,000	720	5,760,000	事前登録のみ
		会員 当日登録	0	0	0	
		非会員 理学療法士	20,000	5	100,000	事前登録のみ
		非会員 他職種	8,000	6	48,000	事前登録のみ
		学生	3,000	81	243,000	事前登録のみ
2	広告料		16	346,000	バナー広告他※	
3	企業展示料	0	0	0		
4	その他収益	0		0		
合計				6,497,000		

支出の部				
	科目	摘要	金額(円)	備考
1	会議費	会議関連費用	0	
2	旅費交通費	当日運営スタッフ旅費他	10,000	
3	通信運搬費	通信関連費用	10,000	郵送料他
4	消耗什器備品費	事務用品他	100,000	記念品(受賞者、座長・司会御礼)代他
5	印刷製本費	プログラム集印刷製本費他	0	運営委託費に含まれる
6	賃借料	会場費・会場付属設備費他	410,000	会場キャンセル料他
7	諸謝金	講師謝金・旅費、準備委員謝金	600,000	
8	手数料	振込手数料	10,000	
9	委託料	運営企業委託費他	5,200,000	ポスター等の作製も委託
10	臨時雇賃金	当日運営要員アルバイト料	24,000	当日運営スタッフ賃金(＠6,000円×10名×2日)
11	予備費	雑費含む	133,000	
合計			6,497,000	

※広告料:バナー広告:16,500円×11社、動画広告:33,000円×5社





<b>報告</b>		議案説明時間	
		約 2 分間	
		時 分	～ 時 分
		時 分	
		補足説明時間 (希望がある場合のみ)	
		約 分間	
		時 分	～ 時 分
		時 分	
提出者*	永野康治	説明者*	永野康治
所属	委員会 / 学会 / 研究会 名称[ ]		
役職	理事長 / 副理事長 / <u>総務担当理事</u> / 委員長 / 理事 / その他 ( )		
報告 議題	委員会開催時の手続きについて  Key word* ;		
内容及び 提出趣旨	<p>学会内の各委員会開催にあたり、下記のように進めていただくようお願いいたします。</p> <p>0. 委員会内で総務担当との連絡を担当する庶務担当 1 名を選出してください。</p> <p>1. 会議開催が決まりましたら、総務担当理事に日程、方式（対面、Web）、謝金交通費の有無、公文書の有無をご連絡ください。（会議形態に応じて必要手続きを案内いたします）</p> <p>2. 会議後、会議報告書(添付資料)をご提出ください。（提出先等は別途連絡いたします）</p> <p style="text-align: center;">添付資料：<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無（別紙 枚 資料番号等）</p>		
特記事項			

\*提出者：発表者は太字標記 / \*Keyword は 3～5 つ指定し、そのうちひとつは所管課/委員会名を含むこと

# 会議報告書

**【提出先】**

報告者

日本〇〇理学療法学会

報告日 年 月 日

報告者→総務担当理事→副理事長→事務取扱担当者

事業番号

<b>理事会・委員会など</b>				
<b>会議名等</b>				
<b>開催日時</b>	年	月	日	時 分～ 時 分
<b>場 所</b>				
<b>出席者の</b> <b>役職名</b> <b>会員番号</b> <b>氏名(フルネーム)</b> <b>謝金有無の入力</b> 有：会議謝金対象 無：会議謝金対象外	役職名	会員番号	氏 名	謝金有無
<b>決定事項 (要点)</b>				
<b>次回検討事項</b>				

《以下概要：必要時応じ会議資料は別添で》

以上